

石炭統計

奧中孝三編

昭和十二年版

14.4

14.4-1079



1200501209949



始



納本

14.4

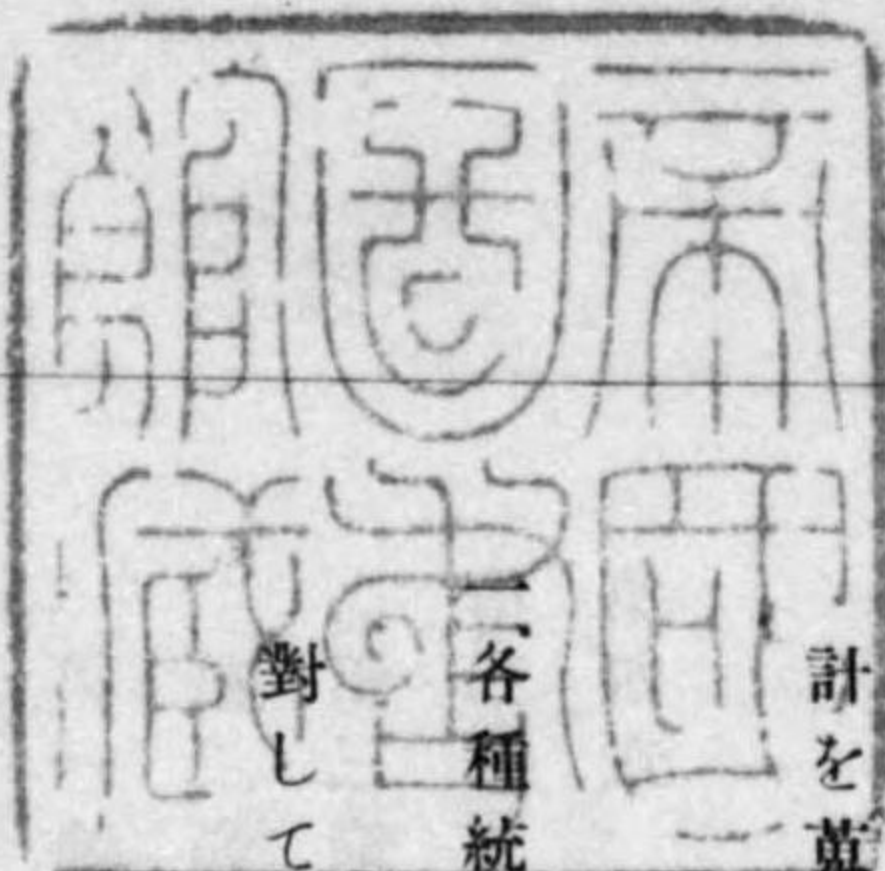
1079

昭和十二年版

石炭統計

石炭鑛業聯合會

14.4
1079



凡
例

一、本書は昭和十一年の石炭界の概況並に最近十ヶ年間の炭業の大勢を示す各種の統計を蒐集編纂したものであつて、十一年版統計の或ものに補修訂正を加へた。

二、各種統計は原則として最近十ヶ年分を取纏めることとしたが資料の得難いものに對しては不得已十ヶ年未満に止めた。

三、石炭の輸出入は従來多く「英噸」で發表されたが本表では之を「噸」に換算した。

昭和十一年の石炭統計
昭和十二年の石炭統計



1. 41
1050

昭和十二年版石炭統計目次

昭和十一年の石炭鑛業概観

第一章 概 説……………一—四

第二章 石炭の需要並に供給……………一

 第一節 石炭の需要……………一

 第二節 石炭の供給……………四

 第三節 石炭市況……………七

第三章 操業状況……………九

第四章 労働事情……………三

圖 表

一、昭和十一年石炭産額並輸、移出入一覽……………一

二、最近十六年間に内地石炭需給一覽表……………二

三、最近四年間に内地産業別石炭消費高一覽表……………三

統計目次

石炭埋藏量……………一

 一、世界石炭埋藏量調……………一

 二、本邦石炭埋藏量調……………二

三、滿洲國石炭埋藏量調……………三

四、支那各省別石炭埋藏量調……………三

石炭産額……………三

 五、最近十年間に内地府縣別並領土別石炭産額調……………四—七

 六、最近十年間に内地主要炭礦別石炭産額調……………八—三

 七、最近十年間に内地主要炭礦會社別石炭産額調……………三

 八、最近十年間朝鮮主要炭礦別石炭産額調……………四—五

 九、最近十年間南樺太主要炭礦別石炭産額調……………五

 十、最近十年間臺灣主要炭礦別石炭産額調……………六—七

 十一、最近十年間滿洲國主要炭礦別石炭産額調……………八—九

 十二、最近十年間北樺太鑛業會社土威炭礦石炭産額並送出高調……………九

 十三、最近十年間世界主要産炭國別石炭産額調……………一〇—三

 十四、最近十年間世界主要骸炭産出國別産額調……………三

 十五、最近十年間世界主要亞炭産出國別産額調……………三

送炭並貯炭高

 十六、最近十六年間に石炭聯合會調節送炭實績調……………一四—七

 十七、最近十年間に全國送炭地方別内譯調……………六

 十八、最近十年間に全國送炭月別内譯調……………六

 十九、最近十年間に各月末内地貯炭高調……………一〇—三

輸、移出入高……………三

 二十、最近十年間に石炭國別輸出入高調……………三



二十一、最近十年間石炭移出入高調……………三
 二十二、最近十年間石炭港別輸出入高調……………三
 二十三、最近十年間撫順炭内地輸入高調……………三
 二十四、最近十年間開平炭内地輸入高調……………三

海外市場に於ける本邦炭の消費

二十五、最近十年間上海石炭輸入高調……………三
 二十六、最近十年間香港石炭輸入高調……………三
 二十七、最近十年間新嘉坡石炭輸入高調……………三
 二十八、最近十年間馬尼刺石炭輸入高調……………三

消費地方到着炭高

二十九、最近十年間内地炭集散仕向別調……………三
 三十、最近十年間内地炭地方別送高内譯調……………三
 三十一、最近十年間主要消費地方到着炭高調……………三
 三十二、最近十年間京濱地方（東京、横濱、川崎）到着炭高調……………三
 三十三、最近十年間東京到着炭高調……………三
 三十四、最近十年間横濱港到着炭高調……………三
 三十五、最近十年間川崎港到着炭高調……………三
 三十六、最近十年間名古屋港到着炭高調……………三
 三十七、最近十年間伊勢灣到着炭高調……………三
 三十八、最近十年間大阪港到着炭高調……………三
 三十九、最近十年間神戸港到着炭高調……………三

消費高

四十、最近十年間本邦内地並領土に於ける石炭需給調……………五〇
 四十一、最近十年間内地石炭推定消費高調……………五〇
 四十二、最近十年間朝鮮臺灣及南樺太に於ける用途別石炭消費高調……………五〇
 四十三、最近十年間日本内地に於ける産業別石炭消費高調……………五〇
 四十四、昭和八年東京府下に於ける産業別石炭消費高調……………五〇
 四十五、昭和八年神奈川縣下に於ける産業別石炭消費高調……………五〇
 四十六、最近五年間大阪府下に於ける産業別石炭消費高調……………五〇
 四十七、最近四年間神戸市に於ける産業別石炭消費高調……………五〇
 四十八、最近四年間尼ヶ崎市に於ける産業別石炭消費高調……………五〇

労働事情

四十九、最近九年間地方別炭礦夫平均就業時間並就業日數調……………五
 五十、最近十年間各年六月末現在に於ける石炭山鑛夫數調……………五
 五十一、最近十年間炭鑛夫異動調……………五
 五十二、最近四年間石炭山鑛夫扶助調……………五
 五十三、最近九年間石炭山健康保險組合數、被保險者數、給付件數、日數及金額一覽……………五
 五十四、最近十年間炭鑛夫一工當平均賃金調……………五
 五十五、最近十年間炭礦變災事由別災害回數調……………五
 五十六、最近十年間炭礦變災事由別鑛夫死傷者數調……………五

其 他

五十七、最近十年間各年稼行炭礦數調…………… 充

五十八、最近十年間内地炭礦出炭類別調…………… 七〇七

五十九、最近十年間に於ける石炭山鑛夫數、出炭高並直接生産費一覽…………… 七〇七

六十、最近十年間各年末に於ける石炭試掘並探掘鑛區數及面積調…………… 七〇七

六十一、最近十年間石炭試掘並探掘出願件數調…………… 七〇七

六十二、最近十年間主要航路に於ける石炭應當平均船積運賃調…………… 七〇七

六十三、最近十年間内地石炭鑛業會社營業成績調…………… 七〇七

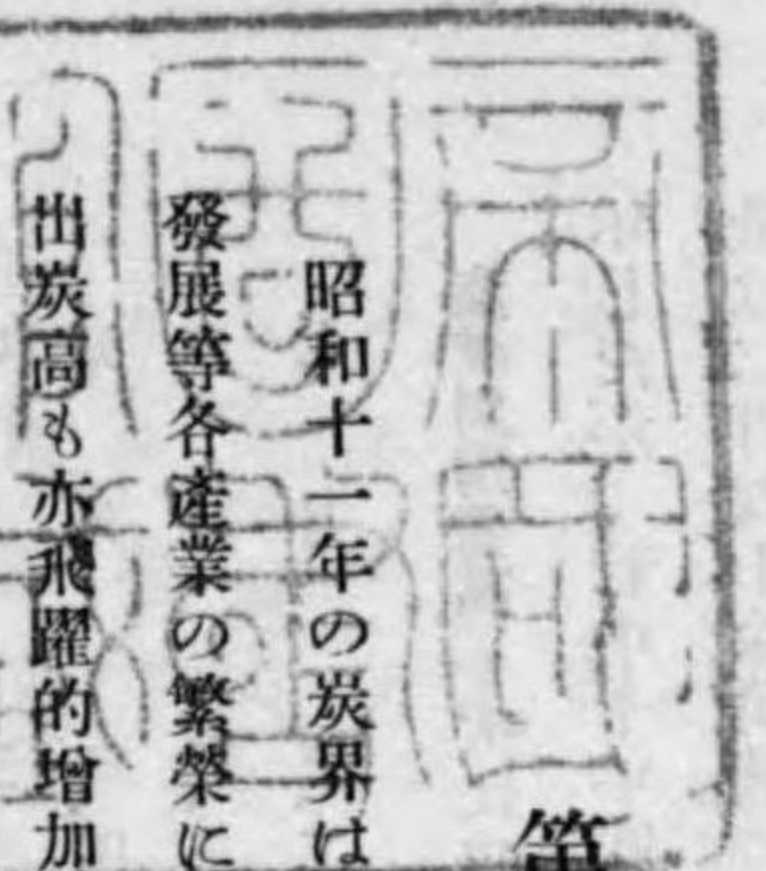
昭和十二年版

石炭統計

昭和十一年の石炭鑛業概觀

石炭鑛業聯合會

第一章 概 說



昭和十二年の炭界は十年に引續き好調を繼續し時局に基く重工業の躍進、新興化學工業の隆盛、海運界の好況、輸出産業の發展等各産業の繁榮に伴つて石炭の需要は驚異的增加を示したが、他方各炭礦の増産、新坑の開發、休坑の復興等に因て全國出炭高も亦飛躍的增加を來し、兩者共に十年の夫れを凌駕して最高記録を樹立するに至つた。

斯の如く石炭の需給は未曾有の巨量に達し、炭界にとつて多事なる一年であつたが、石炭鑛業聯合會、昭和石炭株式會社、石炭鑛業互助會等の實施せる生産並に販賣統制に依つて需給の均衡は保持され、好況裡に終始した。

第二章 石炭の需要並供給

第一節 石炭の需要

推定國內消費高 昭和十一年中我國內地の石炭推定總需要高は四千五百萬噸に達したが、此の中炭礦の自家用炭等を控除した

昭和十二年版石炭統計

内地市場の推定消費高は次表の通り四千三百三十六萬噸、十年に比し四百二十餘萬噸（一割餘）の増加で、我國の最高記録であり、以て一般産業界の殷盛を如實に示して居る。

月別	昭和十一年内地市場に於ける月別石炭推定消費高（單位千噸、△印減）		（石炭聯合會調査）	
	消費高	對十年増減	消費高	對十年増減
一月	三、一〇一	△ 八二	三、二八二	三八五
二月	三、三〇〇	△ 三八五	三、四二三	四五六
三月	三、五七二	三九一	三、六一四	一一一
四月	三、三二四	五〇四	三、六四七	二五二
五月	三、四一六	四三八	四、〇八三	五八六
六月	三、三〇三	五〇一	四、一三六	一六八
七月	三、二九九	三〇三	四、一三四	一一四
年計		一〇・一		

産業別消費高 次に昭和十一年度（會計年度）に於ける内地主要産業別石炭推定消費高は左表の通りで、全般的に消費増加を示したが、就中十年度に比し増勢の顯著なるものは新興化學工業の百三十九萬噸、重工業の百十餘萬噸であつて、兩者の増加量は二百五十餘萬噸に達し、總増加量の六割を占めてゐる。隨て昭和十一年に於ける石炭の需要増加は主として之等兩産業の躍進に基因するものと観ることが出来る。

産業別	昭和十一年度産業別石炭消費高（單位千噸）		（昭和石炭株式會社調査に據る）	
	消費高（自十一年四月至十二年三月）	十年比較増	産業別消費高（自十一年四月至十二年三月）	十年比較増
重工業	七、四九七	一、一三八	三、八三六	三〇六
化學工業	五、六九〇	一、三九二	三、八二二	二三〇
船舶燃料	四、五三〇	三〇	三、一七四	二九六
鐵道	四、〇二八	二八六	二、四三三	一五五
紡織、染色			三、八二二	二三〇
窯業			三、一七四	二九六
電力業			二、四三三	一五五
瓦斯、骸炭業			二、四三三	一五五

食料品業	其他	總計
二、一三二	六、六〇九	四三、八五〇
一四一	二二七	四、一〇一
七	四	一一

備考、昭和石炭株式會社の本調査は會計年度に據り尙ほ地方小炭礦の送炭をも含むため石炭聯合會の曆年度に據る推定消費高とは相違あるを免れず。消費高は昭和石炭株式會社調査の有煙炭數量に、無煙炭推定數量を加算せり。

主要消費地方入着炭 我國内地の地方別入着炭高は次表の通り總計三千七百八十餘萬噸で、十年に比し四百三十餘萬噸（一割三分）の増加を示して居るが、此の内東京、大阪、名古屋、中國、北九州の主要消費地方入着炭は二千九百三十萬噸に達し、總量の約八割を占め前年に比して三百四十萬噸（一割三分）を増加した。

地方別	昭和十一年地方別入着炭高（單位千噸）		合計	十年比較増
	内地炭	輸入炭		
阪神地方	六、六三九	一、一五八	三三七	八、五八九
京濱地方	三、七三七	一、〇五一	五二三	五、三四四
名古屋地方	二、五一三	六二二	四一八	三、五四三
九州地方	七、八六一	七四〇	四六	八、六四七
中國地方	三、〇二七	一〇五	八〇	三、二二二
其他地方	七、八〇二	五二三	二二八	八、五五三
合計	三二、五七九	四、一八九	一、七五〇	三七、八八八

輸出炭 昭和十一年中内地炭の輸出高は百十一萬噸、十年に比し九萬噸（九分）の増加を示した。内地に於ける石炭消費の急増に依り茲數年間石炭の輸出は全般的に不振の域を脱し得ないが、特に數年以前迄輸出數量の大半を占めてゐた中華民國向數量は逐年激減し、十一年には僅かに十萬噸、輸出總量の一割と云ふ未曾有の最低記録を示し、他方南洋方面は可なりの増加を呈した。尙ほ輸出炭中、九州炭は十年と同様約七十萬噸で輸出總量の六割餘を占め、北海道炭は四十萬噸、十年の數量よりも十二萬噸を増加して輸出總量の三割七分に向上した。

昭和十一年内地炭輸出高(單位千噸、△印減)

仕向國	輸出高	輸出割合(%)	十年比較	同増減率(%)
香港	四三一	三八・八	八	—
海峽殖民地	二七五	二四・七	五九	二七・〇
比律賓	二七三	二四・五	八三	四四・一
中華民國	一〇九	九・八	△ 四一	二七・二
其他	二四	二・二	△ 一六	三九・六
合計	一、一三三	一〇〇・〇	九三	九・一
内九州炭	七〇二			
北海道炭	四〇八			
宇部炭	二			

(大藏省主税局調査)

移出炭 昭和十一年内地炭の領土移出高は總計八十九萬六千噸、十年に比し十五萬噸(二割)の増加であつて、殆んど全部朝鮮送りである。尙ほ移出炭を産地別に觀れば、九州炭は八十二萬噸で移出總量の九割を、北海道炭は八萬噸で約一割を占めて居る。其の仕向先内譯は次表の通りである。

昭和十一年内地炭領土別移出高(單位噸)

(石炭聯合會調査)

仕向地	移出高	同割合	十年比較	増加率
朝鮮	八八四、六七八	九八・七	一四八、六三六	二〇・二
南洋	五、八九三	〇・七	△ 九五九	—
南樺太	四、八〇四	〇・六	二、〇五〇	—
臺灣	九四〇	—	四〇一	—
合計	八九六、三一五	一〇〇・〇	一五〇、二二八	二〇・一

第二節 石炭の供給

出炭高 昭和十一年の内地出炭高は總計四千八百八十萬噸、十年に比較して四百餘萬噸(二割一分)の増加に當り、正に我國炭

業創始以來の最高記録である。其の地方別内譯を示せば左表の通りで、九州炭は二千六百六十五萬噸、總額の六割四分を占めて第一位にあり、北海道炭は二割二分を、常磐及山口炭は各々七分に該當し、各地共十年に比較して一割前後の増加を示して居る。尙ほ出炭高を炭種別に觀るに、従來出炭總計中九十四%を占めて居た重要炭山(産額五萬噸以上の炭礦)の出炭割合は九十二%に低下して居るが、之れは炭業者が主要炭礦の増産以外に石炭の需要急増に應ずる爲め、五萬噸以下の小炭礦の増産休業炭礦の復興或は新礦の開発等にも鋭意盡力した結果である。

昭和十一年出炭高(單位千噸)

(鑛山監督局調査)

産地別	出炭高	出炭割合(%)	十年比較増	同割合(%)
九州	二六、六五〇	六四	二、四九〇	一〇
北海道	九、二八八	二二	九七〇	一一
常磐	二、八八一	七	二五二	九
山口	二、九〇六	七	三〇八	一一
其他	七八	—	二〇	—
合計	四一、八〇三	一〇〇	四、〇四〇	一一

次に前表出炭高を炭種別に見ると、無煙炭は山口縣大嶺、筑豊、熊本縣天草地方及和歌山縣下に僅少の埋藏量を有し、十一年中の産額は合計僅かに五十萬噸、之に煽石約四十萬噸を加へたる兩者の産額は出炭總計の約二%程度で、内地需要高の約三分の一を供給するに過ぎない。加ふるに近時新興化學工業の隆昌、家庭用煉炭、豆炭等の普及に依つて無煙炭の需要は益々増加しつゝあるを以つて、大部分は佛領印度支那、朝鮮、關東州の復州炭礦及少量ながら支那等より輸入して需要に應じつゝあるが、今後内地需要高の増加に伴つてその輸入高も益々増加すべき趨勢にある。今參考のため最近六年間に於ける内地無煙炭産額及外地無煙炭の輸入高を表示すれば次の通りである。

最近六年間無煙炭産額及輸移入高(單位千噸)

産地別	昭和十一年	同十年	同九年	同八年	同七年	同六年
山口縣大嶺	三〇〇	二八一	三三三	二九八	二六五	二三二
福岡縣筑豊	一五〇	一三〇	一二〇	三八	三六	五一
熊本縣天草	六〇	四九	三一	一二	一	二
和歌山縣	一〇	八	一〇	九	七	六
無煙炭計	五二〇	四六八	四八四	三五七	三〇九	二九一
燧石(筑豊)	四三〇	四二二	三七五	三七二	二八〇	一八二
内地産額計	九五〇	八九〇	八五九	七二九	五八九	四七三
佛領印度炭	八八三	七四九	五四九	四六三	三九七	三三五
朝鮮無煙	六二八	六〇八	五七三	四七〇	三五四	四四七
復州無煙	一六〇	一四〇	一三〇	一三一	六九	四一
輸移入計	一、六七一	一、四九七	一、二五二	一、〇六四	八二〇	八〇三
供給合計	二、六二一	二、三八七	二、二一一	一、七九三	一、四〇九	一、二七六

輸入炭 昭和十一年中外國炭の輸入高は總計四百十八萬噸、十年に比し十四萬噸(三分四厘)を増加して最高記録に達した。其の積出國外譯は次表の通りで、從來常に輸入總量の約七割以上を占めてゐた滿洲炭は、十年の數量より四十二萬噸(一割六分)を減じて總量の五割四分に低落したが、之れは同國産業の興隆に伴ひ石炭の國內消費急増し、勢ひ同國産炭の國外輸出減少を餘儀なくされた爲である。反之中華民國炭は四十六萬噸(八割餘)を激増して輸入總量の二割五分に躍進し、佛領印度支那炭も十三萬噸(八分)を増加して輸入量の二割餘を占むるに至つた。

昭和十一年石炭輸入高(單位千噸)

(大藏省主税局調査)

積出 國	輸入高	輸入割合	十年比較	同 増減率
滿洲國	二、二七三	五四・二%	△ 四二〇	一五・六%
中華民國	一、〇三二	二四・四%	四六三	八二・九%
佛領印度支那	八八三	二二・一%	一三五	八・〇%
其他	一一一	〇・三%	△ 三八	—
合計	四、一八九	一〇〇・〇%	一四〇	三・四%

移入炭 昭和十一年中の領土炭移入高は百七十五萬噸、十年に比較して五十八萬噸(五割)の増加を示した。其の産地別内譯は次表の通りであるが、殊に南樺太炭の進出目覺ましく前年數量の二倍以上に激増して總計百萬噸、移入總量の約六割を占むるに至つた。同炭の内地市場進出量が一萬噸臺に上つたのは昭和四年であつたが、爾來加速度的増勢を維持して今日に至つた。同地の新礦開發或は増産計畫の進行に伴つて今後益々同炭の内地市場躍進が豫想されてゐる。

昭和十一年石炭移入高(單位千噸)

(石炭聯合會調査)

積出 地	移入高	輸入割合	十年比較	増 加 率
南 樺 太	一、〇〇七	五七・六%	五三三	一一・四%
朝 鮮	六二九	三三・九%	二一〇	三三・三%
臺 灣	一一四	六・五%	三三三	四〇・〇%
合計	一、七五〇	一〇〇・〇%	五八六	五〇・三%

第三節 石炭市況

市況概観 昭和十一年石炭需給の大勢は上述の通りで、内地石炭産額は四千百八十萬噸、市場送出高は三千七百四十餘萬噸、外國炭輸入高四百廿萬噸、領土炭移入高百七十五萬噸、内地市場消費高四千百四十萬噸、内地炭領土移出高九十萬噸で、國內

消費増加に基く輸出の不振を除けば孰れも未曾有の數量に達し、從來の記録を一新する飛躍振りであつた。昭和七年下期以降躍進的増勢を持續して來た石炭の消費は同十年に至り騰勢一時停頓するやに見えたが、十一年に入つて再び盛返し、國家豫算の大膨脹、伊エ紛争或はスペイン革命に基く歐洲動亂の危機等、内外非常時局は直接間接に産業界を刺戟し、石炭の需要は逐月昂上した爲め、年間を通じて約四百二十萬噸の消費増加を示すに至つた。

貯炭 昭和十一年に於ける石炭の需給高は我國未曾有の巨量に達したが港頭並に市場貯炭は左表の通りで、年間を通じて高
低少なく順調なる足取りを示した。

昭和十一年各月末貯炭高(單位千噸、△印減)

月別	港頭	市場	合計	十年比較
一月	三五九	二六五	六二四	△ 五三
二月	三五二	二〇二	五五四	△ 一二四
三月	三一八	二〇六	五二四	△ 二二四
四月	三三〇	二二四	五五四	△ 二三八
五月	三〇四	二五〇	五五四	△ 二八六
六月	三一九	二七三	五九二	△ 二四三
七月	三八四	三二〇	六九四	△ 一〇四
八月	三四八	三四三	六九一	△ 六六
九月	三九九	三四九	七四八	△ 四
十月	五〇七	三六五	八七二	一三三
十一月	四九七	三七六	八七三	八六四
十二月	三五五	三四三	六九八	△ 二四
年平均	三三三	二九二	六六五	△ 九六

石炭運賃 昭和十一年の我國海運界は輸出入貿易の伸張、伊エ紛争、スペイン内亂等に基く歐洲船舶の東洋市場進出減少の

爲め近年に見ざる活況を呈し、石炭運賃も十年に比し概して強調を呈した。

昭和十一年石炭適當平均汽船運賃(單位圓)

月別	若松/京濱	室蘭/京濱	大連/京濱
一月	一・七五	一・六五	一・七〇
二月	二・一〇	二・〇〇	一・八〇
三月	二・三五	二・二五	一・八〇
四月	二・三五	二・二五	一・八〇
五月	二・五五	二・四〇	一・七〇
六月	二・三七	二・二〇	一・七〇
七月	二・三〇	二・一五	一・七〇
八月	二・〇五	一・九七	二・一五
九月	一・八〇	一・七〇	一・八〇
十月	一・七〇	一・六〇	一・七〇
十一月	一・九〇	一・七五	一・八〇
十二月	二・二五	一・九五	二・〇〇

第三章 操業狀況

出願件數 昭和十一年中の石炭試掘出願件數は二、四八四、同採掘出願件數三八、孰れも昭和九年並に十年に引續き激増を示したが、特に試掘出願は昭和元年より八年に至る一年平均一、二〇〇件に比較すれば正に二倍に相當し、炭礦開發計畫の旺盛を物語つて居る。

鑛區數及面積 昭和十一年末現在に於ける石炭試掘鑛區數は二、〇一五、同面積四千六百六十七萬アール、採掘鑛區數は一、四

三〇、同面積は二千三百九十七萬アールで十年に比し兩者共に孰れも大體増加を示した。
 稼行炭礦數其他 昭和十一年末稼行炭礦總數は四七五、内五萬噸以上の出炭を見たるもの一二三出炭高三千八百六十餘萬噸で、出炭總量の九二%を占め、五萬噸未滿のものは三五二礦、同出炭高三百十七萬噸で、前者は十年に比し三百二十萬噸(九分)を、後者は八十二萬噸(三割五分)を夫々増加した。

今参考のため十一年の出炭高を類別表示せば次の通りである。

昭和十一年稼行炭礦出炭高類別表(單位千噸、△印減)

炭礦數	二百萬噸以上	百萬噸以上	五十萬噸以上	十萬噸以上	五萬噸以上	五萬噸未滿	合 計
前年比較	一	七	一三	七八	二四	三五二	四七五
出炭高	一	二	一	五	△ 一	一八	二五
前年比較	二、六二八	八、七三六	八、七七七	一六、八五一	一、六三四	三、一七七	四一、八〇三
前年比較	一四〇	二、七三三	三六〇	二〇三	△二〇九	八二四	四、〇四一

主要炭礦別出炭高 昭和十一年中出炭高百萬噸以上のものは左記八礦で孰れも創業以來の最高記録を示した。左記八礦の十一年出炭合計は千百三十萬噸で十一年に於ける内地全炭礦出炭總計の二割七分に相當してゐる。

最近五年間主要炭礦別出炭高(單位千噸)

(石炭聯合會調査)

炭礦別	昭和十一年	同 十年	同 九年	同 八年	同 七年	同 四年
三 池	二、六二八	二、四八八	二、三二九	二、二四八	一、八八三	二、五〇〇
大ノ浦	一、四九八	一、三五八	一、三二九	一、一三三	一、〇四七	一、三九〇
タ張	一、四五二	一、二七四	一、一七七	一、〇七五	九六二	一、三〇九
三井田川	一、三七二	一、二〇五	一、一五五	一、一一〇	八八二	一、一〇三
沖ノ山	一、二四五	一、一五五	一、一四五	九七〇	八六二	九三〇
二 瀬	一、〇七〇	一、〇二〇	九五二	九三一	八九〇	一、一五九

三 菱 美 明	一、〇三一	九五八	八七九	八四三	六四五	九四六
崎 戸	一、〇二〇	九五三	八五八	七三五	六一八	八三〇
計	一、三三五	一〇、四一一	九、八二四	九、〇四五	七、七八九	一〇、一六七

稼行概況 採炭方法は厚薄炭層何れも片磐拂長壁式に改良されたものが愈々多く、拂跡充填には堤防式、手詰充填、澆水充填等が行はれ、截炭機はコイルピック、カッターの使用が増した、切羽の運搬にはチェーン・コンベアーの採用が普及し、ベルトコンベアー或はローダーを使用するものもあつて、殊に運搬坑道並に主要運搬斜坑にベルト・コンベアーを連續整備するもの顯はれ、又深度六〇〇米餘の豎坑開鑿成り、最新の捲揚装置を施すものも顯はるゝ等主要幹線運搬に顯著なる躍進を示した。石炭層中に單獨坑道掘進をなすもの其の數を増し、又磐壓の研究、試錐孔の切擴による豎坑開鑿等あり。切羽集約、機械採炭等合理的作業が著しく進展した。

選炭機もジッガーからバウム、レオ型、遊槽式水洗機に改良し、又は其容量を増大するものが多く、微粉炭利用法として煉炭を製造するものも増加した。

稼働一工當出炭高 昭和十一年中主要産炭地別に觀たる稼働一工當の出炭高は左表の通りで、石炭需要の急増に應ずべく各地共多數の礦夫を雇傭し、勢ひ不熟練礦夫の増加を餘儀なくされたため、十年に比較し僅少の減退を免れなかつた。

主要産炭地別稼働一工當出炭高(單位噸)

(石炭聯合會調査)

	九州及山口縣	北海道	常 磐	全國平均
昭和十一年	〇・七三三	一・二七七	〇・六二九	〇・七九九
同 十年	〇・七四一	一・二九一	〇・六一八	〇・八〇五

炭礦會社營業成績 昭和十一年度に於ける主要炭礦會社(金屬兼營會社を含まず)廿二社の營業成績は左表の通りで、炭界の好況を反映し利益率は上、下兩期共前年に比し僅少の増加を示した。

昭和十二年版石炭統計

昭和十一年主要炭礦會社營業成績調(單位千圓)

昭和十一年	上 期			下 期		
	株主資本金	純益金	利益率	株主資本金	純益金	利益率
昭和十一年	二二五、六四三	一一、七九七	一・〇四六	二二六、二四〇	一三、三五〇	一・一三〇
同 十 年	二二三、七六〇	一〇、九七八	一・〇二七	二二〇、三七〇	一〇、四二〇	〇・九四六

(石炭聯合會調査)

第四章 労働事情

鑛夫數 昭和十一年六月末現在に於ける石炭山鑛夫總數は左表の通り十九萬八千人、十年に比較して二萬二千八百人(一割三分)を増加した。殊に坑内男鑛夫の増加は著しく一萬八千四百人に達し、總增加人員の八割を占めたが、之れは業者が採掘増進の爲め専ら坑内作業の擴張に努力した爲である。

昭和十一年六月末現在石炭山鑛夫數

(各鑛山監督局調査)

昭和十一年六月末現在	男		女		計	十年比較
	坑内	坑外	坑内	坑外		
坑内	一四一、三八七		四、八三六		一四六、二二三	一七、九五八
坑外		三八、三六八		一三、三八〇	五一、七四八	四、八九四
合 計	一七九、七五五		一八、二一六		一九七、九七一	二二、八五二
十年比較	三二、四七五		三七七		三二、八五二	

鑛夫の異動 昭和十一年中石炭山鑛夫雇入人員は十九萬餘人、同解雇人員十六萬七千餘人で、同年末に於て二萬二千餘人の人員増加を示した。鑛夫の自發的異動は炭界好況の場合特に著しい傾向があるが、十一年中の夫れは最近數年間に於ける最高記録を示した。

昭和十一年中石炭山鑛夫異動調(△印減)

(内務省社會局調査)

昭和十一年	雇入		解雇		年末増減		前年平均
	坑内	坑外	坑内	坑外	坑内	坑外	
十一月	二五、二八六	一、七五九	一八、四七〇	二、四四五	一、八一六	一、三六八	一、五〇六
十二月	四、三四	四、八五	三、三三	八、六三	三、五七	六八五	六九二
計	二九、五〇	六、六〇九	二一、八〇三	一〇、一〇三	七、七〇	一、九一八	七九六

就業時間 昭和十一年六月並に十二月中の炭鑛夫平均就業時間は次表の通りで十年に比較し兩月共僅少の短縮を示した。

(日本銀行調査)

昭和十一年	坑内		坑外		坑内外平均	前年平均
	時間分	時間分	時間分	時間分		
十一月	八・二九	九・二七	八・五七	八・五七	八・五七	九・〇〇
十二月	八・二九	九・二五	八・五七	八・五七	八・五七	九・〇〇

賃金 昭和十一年中炭鑛夫の賃金總額は八千五百餘萬圓、稼働一工當平均賃金は一圓六十二錢六厘、十年に比し前者は千二百四十餘萬圓(一割七分)を、後者は約七錢(五分)を夫々増加したが、之れは鑛夫の増員と賃金昂騰に因るものである。尚ほ日本銀行調査に係る十一年六月並に十二月の炭鑛夫一日平均實收賃金と十年の夫れとを比較表示すれば次の通りである。

昭和十一年炭鑛夫一日平均實收賃金(單位厘)

(日本銀行調査)

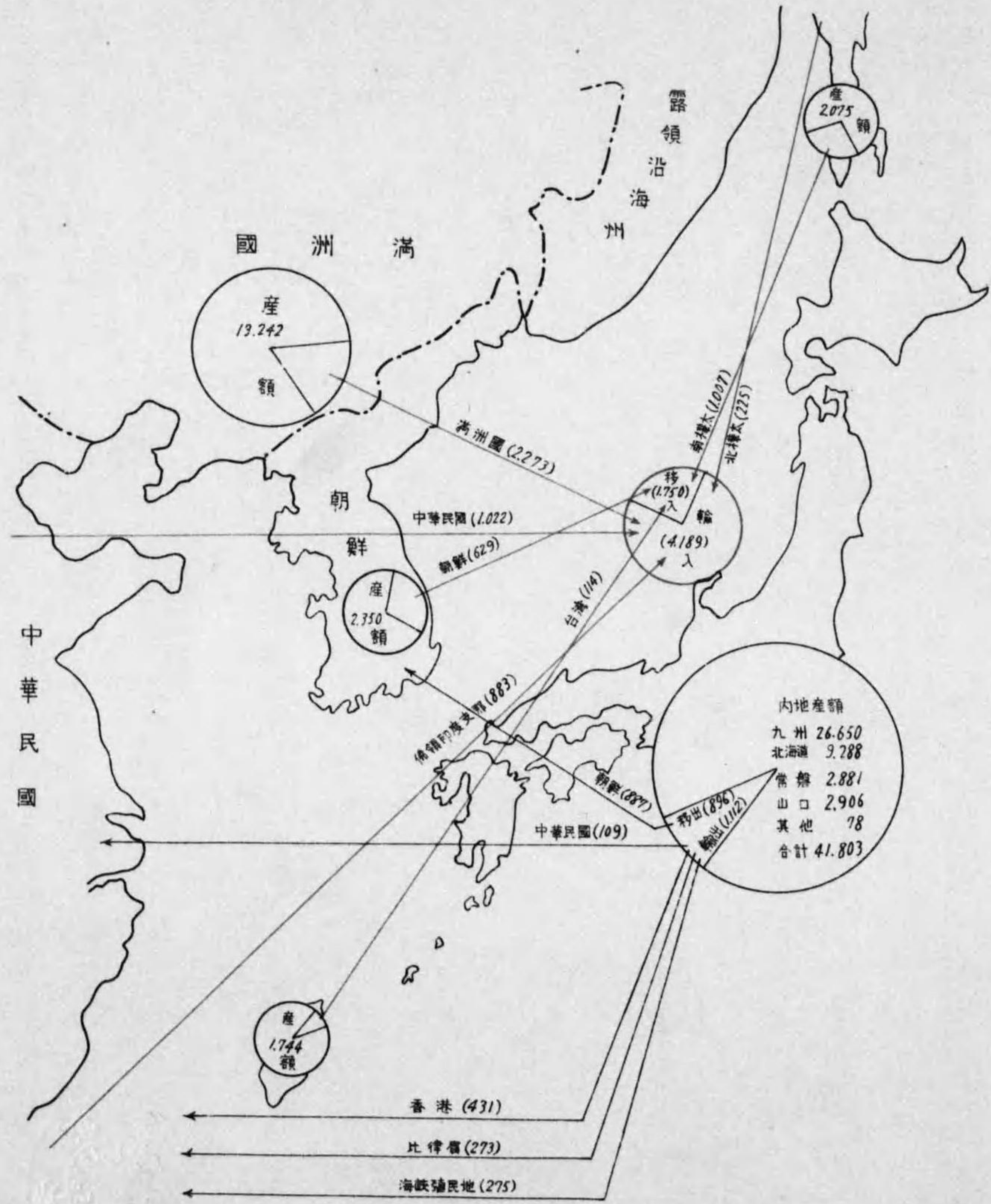
比較(十年)	六 月		十 二 月	
	男	女	男	女
坑内	一、九四五	一、三六八	二、〇五九	一、五〇六
坑外	一、四二九	六八五	一、四八〇	六九二
平均	一、八一八	七七六	一、九一九	七九六
比較(十年)	一〇五	一〇七	一〇五	一〇三

註、日銀調査の本表は内地全炭鑛四百七十餘鑛の中約九十鑛を調査せるもの。

昭和十二年版石炭統計

昭和十一年石炭産額並輸、移出入一覽 (單位千噸)

(圖中黒線ハ輸移出ヲ、赤線ハ輸移入ヲ示ス)



扶助概況 昭和十一年中鑛夫勞役扶助規則に依つて扶助を受けた人員は九千百餘人、同扶助金額二百三萬圓で十年に比し人員は約七百五十人を減少したが金額は三十萬圓を増加した。

計 女 男

九、〇三八

七〇

九、一〇八

二、〇一一

二二

二、〇三三

昭和十一年炭鑛夫扶助概況

扶助人員

扶助料

(內務省社會局調査)

(單位千圓)

變災 昭和十一年中の炭鑛變災事故數並に之に基く死傷者數は左表の通りで事故數並に負傷者數は十年に比較して僅少の減少を示したが死者數は反對に二十二人を増加した。

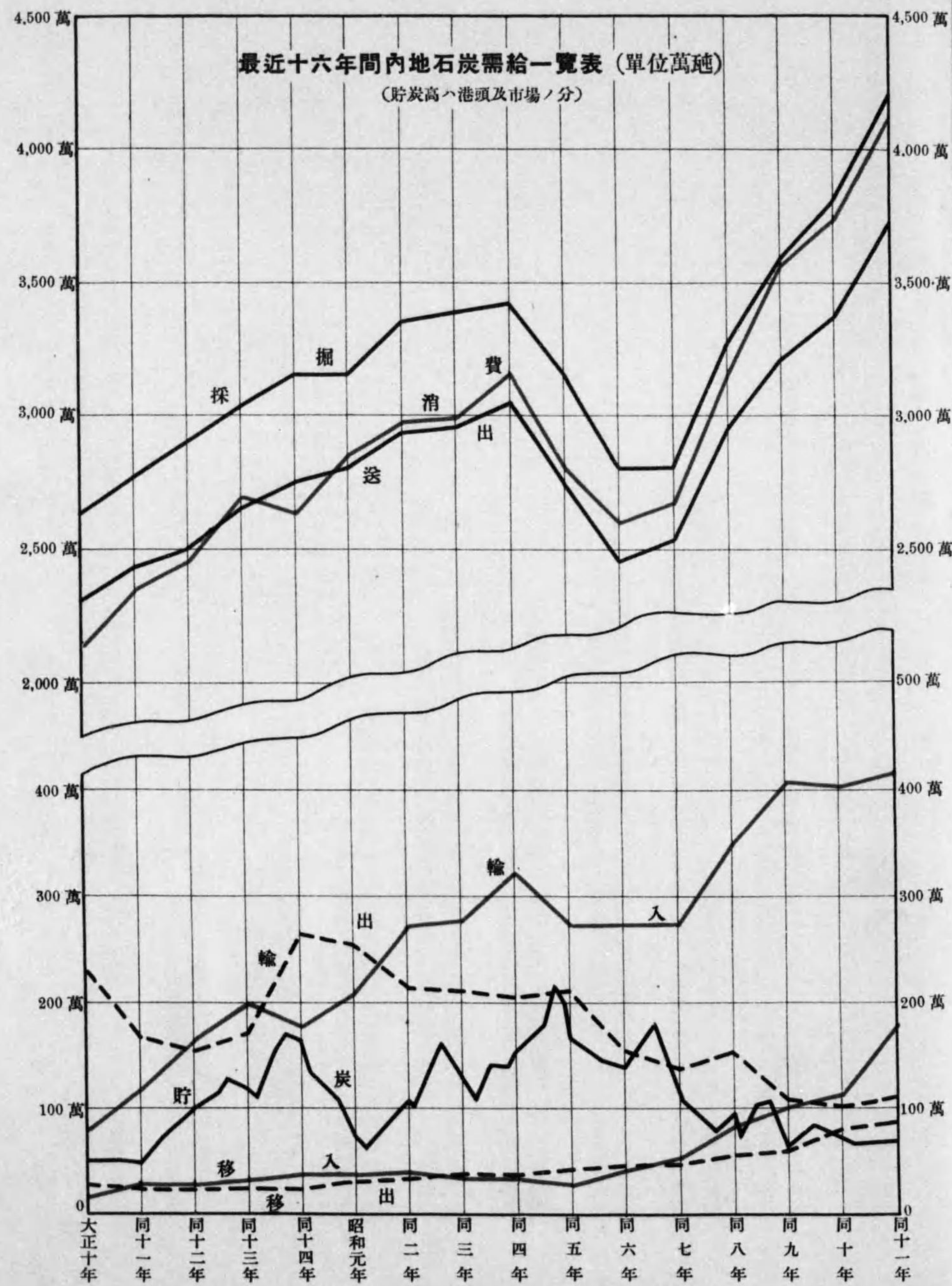
昭和十二年版石炭統計

昭和十一年炭鑛變災事由別死傷者調

(各鑛山監督局調査)

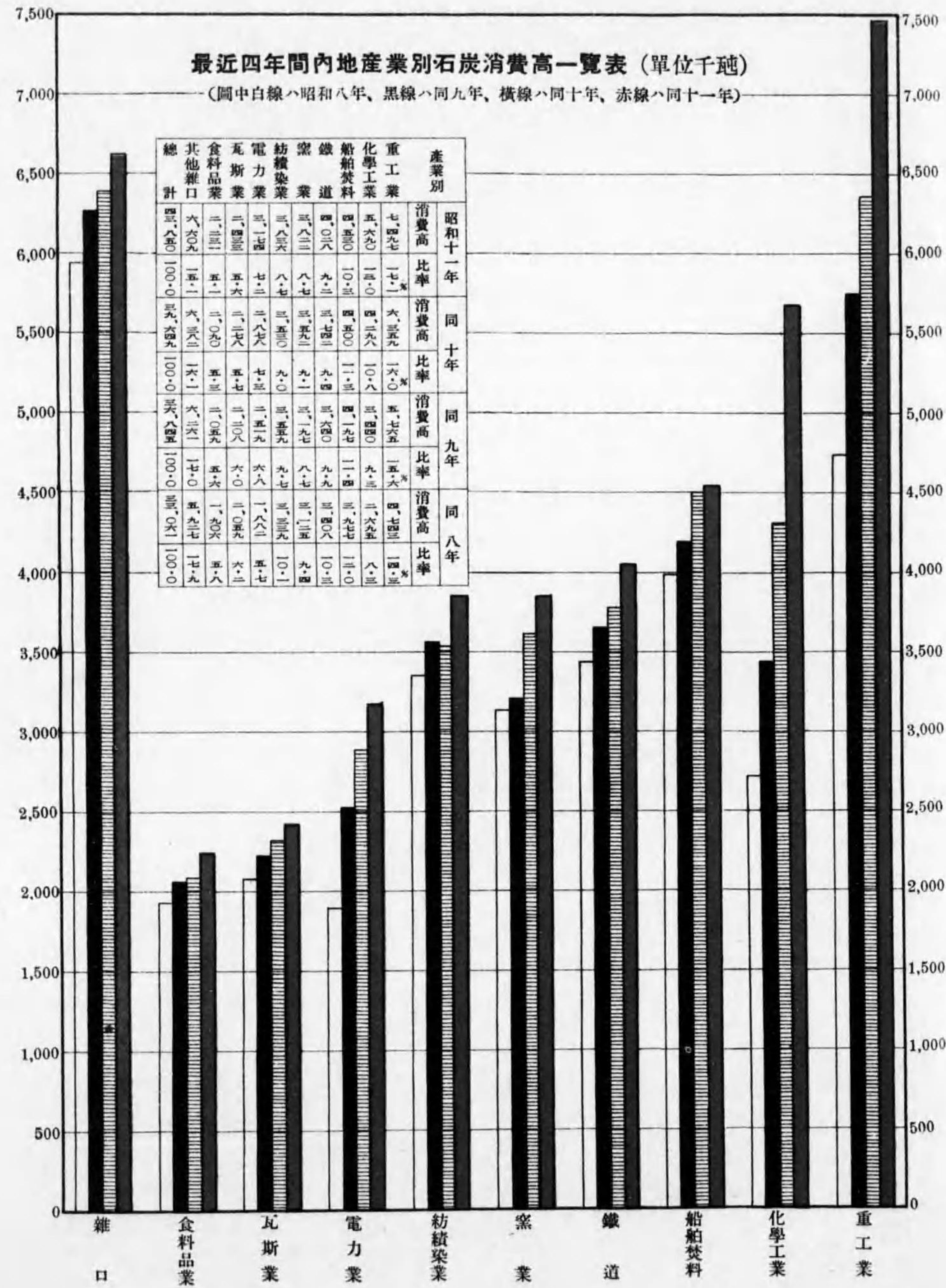
變災事由別	事故數	死亡者	負傷者
坑内計	五五、六九三	九六四	五五、三三二
内落磐、側壁崩壞	二四、四九三	四八二	二四、二五八
鑛車に因るもの	七、七〇一	一一五	七、六一九
瓦斯、炭塵爆發	一八七	一四六	一五三
發破、爆藥のため	二、六九一	一六	二、〇〇一
墜落、轉倒	一、四八〇	四	一、四六二
坑外計	五、五一四	四五	五、四六一
内鑛車に因るもの	一、四八〇	一九	一、四六一
機械のため	四二六	一二	四一一
墜落、轉倒	六〇二	一	五九八
坑内外合計	六一、二〇七	一、〇〇九	六〇、七八三
同十年合計	六二、二五六	九八七	六二、五〇四

(以上)



最近四年間内地産業別石炭消費高一覽表 (單位千噸)

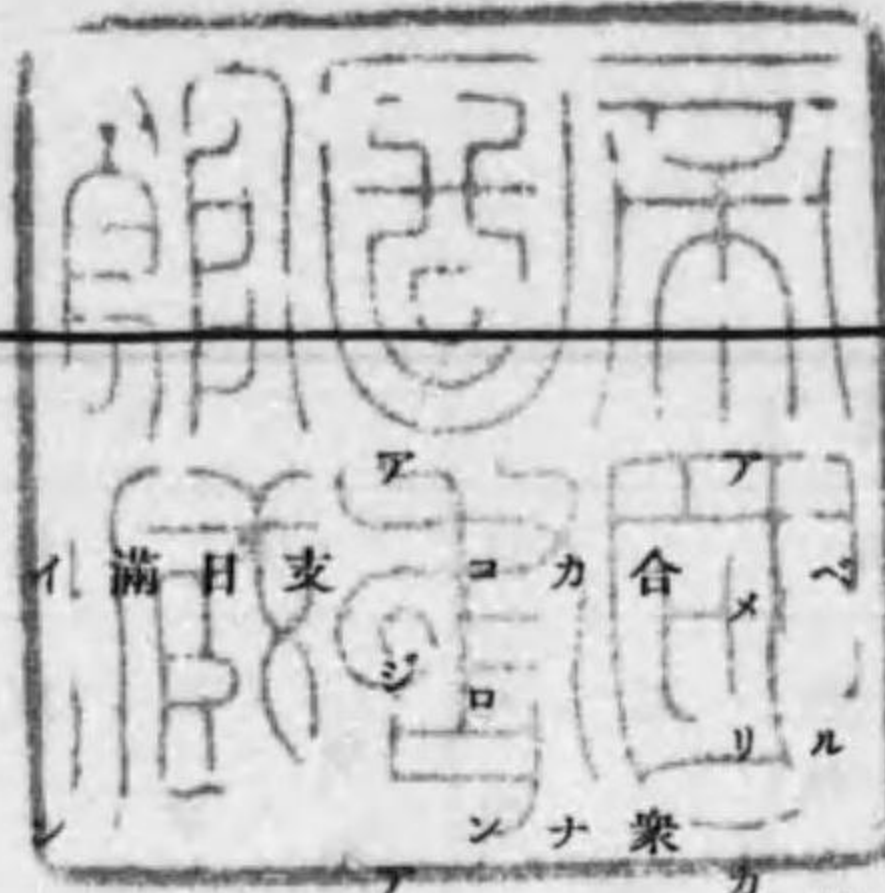
(圖中白線ハ昭和八年、黑線ハ同九年、横線ハ同十年、赤線ハ同十一年)



一、世界石炭埋藏量調査 (單位百萬噸)

(昭和八年東亞經濟調査局調査)

大陸及び國名	推定埋藏量		※計	確實なる埋藏量		※計
	石炭	褐炭		石炭	褐炭	
ヨロツバ	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
イギリス	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
ドイツ	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
ポーランド	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
フランス	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
チェコスロバキア	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
ユーロパ	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
ベネチア	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
メキシコ	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
アメリカ	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
カナダ	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
ブラジル	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
インド	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
シベリア	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
支那	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
日本	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
朝鮮	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
満洲	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
インドネシア	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
オーストラリア	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
南アフリカ	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000
世界計	1,000,000	1,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	2,000,000



〔備考〕 ※印は褐炭を石炭に換算して計上す
昭和十二年版石炭統計

二、本邦石炭埋藏量調 (單位百萬噸)

(昭和七年商工省鐵山局調査其他に據る)

土 領	合 計	地 方 別						既探掘炭量	不可掘炭量	未探掘炭量	未探掘炭量の内譯		現存推定炭量に對する實收炭量	
		別 種 炭	別 方 地								現存炭量	推定炭量		豫想炭量
			亞 瀝 青 炭	無 煙 炭、燧 石	亞 州 炭	九 州、沖 繩	近 畿、中 國、四 國							
臺 南 朝 鮮 (推 定)	水 準 上 炭	六	九八四	三〇	六	七四	六	一九	五	一三	一三	一三	一〇〇	
南 洋 羣 島 (推 定)	水 準 下 炭	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
合 計	合 計	七	九八五	三一	七	七五	七	二〇	六	一四	一四	一四	一〇一	

三、滿洲國石炭埋藏量調 (單位百萬噸)

調查別	省 別	奉 天	吉 林	黑 龍 江	熱 河	合 計
一九三二年 リットン報告	奉天	一、九八四	一、一四三	一、〇四一	一、〇四一	五、二〇九
一九三三年 村上飯藏氏	吉林	一、五九三	一、〇四一	一、〇四一	一、〇四一	四、六八六
一九三三年 久保孚氏	黑龍江	一、五九三	一、〇四一	一、〇四一	一、〇四一	四、六八六
一九二九年 胡博淵氏	熱河	一、五九三	一、〇四一	一、〇四一	一、〇四一	四、六八六
一九二九年 滿鐵地質調査所	合 計	一、五九三	一、〇四一	一、〇四一	一、〇四一	四、六八六
一九三三年 內譯	合 計	一、五九三	一、〇四一	一、〇四一	一、〇四一	四、六八六
一九三三年 有煙炭	合 計	一、五九三	一、〇四一	一、〇四一	一、〇四一	四、六八六
一九三三年 無煙炭	合 計	一、五九三	一、〇四一	一、〇四一	一、〇四一	四、六八六

四、支那各省別石炭埋藏量調

(滿鐵、北支那鐵業紀要及民國十九年農礦部調査)

省 名	鐵 區 面 積 (畝)	埋 藏 量 (百 萬 噸)	割 合	省 名	鐵 區 面 積 (畝)	埋 藏 量 (百 萬 噸)	割 合
山 西	一、二八、九四〇	一、二七、七	一、〇〇	江 西	一、一八、八四〇	九、九三	〇、八
陝 西	一、一四、〇	〇、七、七	〇、六	廣 東	一、一八、八四〇	三、九三	〇、三
四 川	一、一四、〇	〇、七、七	〇、六	廣 西	一、一八、八四〇	三、九三	〇、三
河 南	一、一四、〇	〇、七、七	〇、六	雲 南	一、一八、八四〇	三、九三	〇、三
湖 北	一、一四、〇	〇、七、七	〇、六	貴 州	一、一八、八四〇	三、九三	〇、三
甘 肅	一、一四、〇	〇、七、七	〇、六	雲 南	一、一八、八四〇	三、九三	〇、三
寧 夏	一、一四、〇	〇、七、七	〇、六	廣 西	一、一八、八四〇	三、九三	〇、三
雲 南	一、一四、〇	〇、七、七	〇、六	廣 東	一、一八、八四〇	三、九三	〇、三
貴 州	一、一四、〇	〇、七、七	〇、六	廣 西	一、一八、八四〇	三、九三	〇、三
河 南	一、一四、〇	〇、七、七	〇、六	廣 東	一、一八、八四〇	三、九三	〇、三
湖 北	一、一四、〇	〇、七、七	〇、六	廣 西	一、一八、八四〇	三、九三	〇、三
山 西	一、一四、〇	〇、七、七	〇、六	廣 東	一、一八、八四〇	三、九三	〇、三
陝 西	一、一四、〇	〇、七、七	〇、六	廣 西	一、一八、八四〇	三、九三	〇、三
合 計	一、一四、〇	一、一四、〇	一、〇〇	合 計	一、一四、〇	一、一四、〇	一、〇〇

五、最近十年間内地府縣別並領土別石炭産額調 (一) (單位噸) (本邦鐵業の趨勢「其他に據る」)

(自昭和二年 至同六年)

指以上合計數	内地										產地別	
	山	常磐		北海道		九州		福	長	佐		熊
		口	茨城	福島	計	其後	石狩					
100	1,123,626	1,120,000	763,950	2,350,000	6,500,000	3,975,000	1,263,000	2,340,000	1,920,000	9,500	出炭高	
99.6	1,123,626	1,120,000	763,950	2,350,000	6,500,000	3,975,000	1,263,000	2,340,000	1,920,000	9,500	割合	
101	3,640,700	3,640,700	2,117,000	5,230,000	15,000,000	9,150,000	3,000,000	5,400,000	4,500,000	220,000	出炭高	
99.6	3,640,700	3,640,700	2,117,000	5,230,000	15,000,000	9,150,000	3,000,000	5,400,000	4,500,000	220,000	割合	
100	3,640,700	3,640,700	2,117,000	5,230,000	15,000,000	9,150,000	3,000,000	5,400,000	4,500,000	220,000	出炭高	
99.6	3,640,700	3,640,700	2,117,000	5,230,000	15,000,000	9,150,000	3,000,000	5,400,000	4,500,000	220,000	割合	
100	3,640,700	3,640,700	2,117,000	5,230,000	15,000,000	9,150,000	3,000,000	5,400,000	4,500,000	220,000	出炭高	
99.6	3,640,700	3,640,700	2,117,000	5,230,000	15,000,000	9,150,000	3,000,000	5,400,000	4,500,000	220,000	割合	
100	3,640,700	3,640,700	2,117,000	5,230,000	15,000,000	9,150,000	3,000,000	5,400,000	4,500,000	220,000	出炭高	
99.6	3,640,700	3,640,700	2,117,000	5,230,000	15,000,000	9,150,000	3,000,000	5,400,000	4,500,000	220,000	割合	

指總數	領土					内地	炭														
	指合計	南樺	臺灣	朝鮮			指合計	方	地	他	共	計	其	沖	香	京	和	長	新	山	秋
				計	有																
100	2,340,000	700,000	1,120,000	520,000	1,000,000	10,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
101	2,340,000	700,000	1,120,000	520,000	1,000,000	10,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
100	2,340,000	700,000	1,120,000	520,000	1,000,000	10,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
101	2,340,000	700,000	1,120,000	520,000	1,000,000	10,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
100	2,340,000	700,000	1,120,000	520,000	1,000,000	10,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
101	2,340,000	700,000	1,120,000	520,000	1,000,000	10,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

五、最近十年間内地府縣別並領土別石炭産額調 (二) (單位噸) (本邦鐵業の趨勢其他に據る)

(自昭和七年 至同十一年)

指以 上合 數計	内							産 地 別	昭 和 七 年	同 八 年	同 九 年	同 十 年	同 十 一 年	
	山	警	常	道	海	北	州							九
498	26,000,376	1,000,000	2,320,000	3,320,000	1,000,000	1,799,997	17,999,997	出炭 高	14,655,376	17,000,000	19,900,000	20,000,000	23,700,000	
	999	67	7	26	2	64	53	割合	53	55	55	55	55	
	26,000,376	1,000,000	2,320,000	3,320,000	1,000,000	1,799,997	17,999,997	出炭 高	14,655,376	17,000,000	19,900,000	20,000,000	23,700,000	
	999	67	7	26	2	64	53	割合	53	55	55	55	55	
	26,000,376	1,000,000	2,320,000	3,320,000	1,000,000	1,799,997	17,999,997	出炭 高	14,655,376	17,000,000	19,900,000	20,000,000	23,700,000	
	999	67	7	26	2	64	53	割合	53	55	55	55	55	
	26,000,376	1,000,000	2,320,000	3,320,000	1,000,000	1,799,997	17,999,997	出炭 高	14,655,376	17,000,000	19,900,000	20,000,000	23,700,000	
	999	67	7	26	2	64	53	割合	53	55	55	55	55	
	26,000,376	1,000,000	2,320,000	3,320,000	1,000,000	1,799,997	17,999,997	出炭 高	14,655,376	17,000,000	19,900,000	20,000,000	23,700,000	
	999	67	7	26	2	64	53	割合	53	55	55	55	55	

指總 數計	領 土				内 地	炭										
	指合 數計	南 樺	臺 灣	鮮 計		指合 數計	方地他其									
							計									
498	26,000,376	1,000,000	2,320,000	3,320,000	1,000,000	1,799,997	17,999,997	出炭 高	14,655,376	17,000,000	19,900,000	20,000,000	23,700,000			
	999	67	7	26	2	64	53	割合	53	55	55	55	55			
	26,000,376	1,000,000	2,320,000	3,320,000	1,000,000	1,799,997	17,999,997	出炭 高	14,655,376	17,000,000	19,900,000	20,000,000	23,700,000			
	999	67	7	26	2	64	53	割合	53	55	55	55	55			
	26,000,376	1,000,000	2,320,000	3,320,000	1,000,000	1,799,997	17,999,997	出炭 高	14,655,376	17,000,000	19,900,000	20,000,000	23,700,000			
	999	67	7	26	2	64	53	割合	53	55	55	55	55			
	26,000,376	1,000,000	2,320,000	3,320,000	1,000,000	1,799,997	17,999,997	出炭 高	14,655,376	17,000,000	19,900,000	20,000,000	23,700,000			
	999	67	7	26	2	64	53	割合	53	55	55	55	55			
	26,000,376	1,000,000	2,320,000	3,320,000	1,000,000	1,799,997	17,999,997	出炭 高	14,655,376	17,000,000	19,900,000	20,000,000	23,700,000			
	999	67	7	26	2	64	53	割合	53	55	55	55	55			

(備考) 昭和十一年朝鮮産額は推定数量。昭和十二年版石炭統計

昭和十二年版石炭統計

Table of coal production statistics for various prefectures in Japan, including columns for Prefecture (炭礦別), Location (所在地), Miner (鑛業權者), and production amounts for years 1921-1923.

Table of coal production statistics for various prefectures in Japan, including columns for Prefecture (炭礦別), Location (所在地), Miner (鑛業權者), and production amounts for years 1921-1923.

昭和十二年版石炭統計

炭礦別	所在地	鑛業權者	昭和二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年
愛宕	飯塚市	嘉麻興業會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
神田	鞍手郡、西川	菅原誠	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宮尾	田川郡、勾金	藤井伊藏	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大成	鞍手郡、西川	藤井鑛業會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
海老津	遠賀郡、岡垣	金丸鑛業會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐賀縣	杵島郡、大町	杵島炭礦會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
岩屋	東松浦郡、嚴木	貝島炭礦會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新屋敷	同所	日東炭業會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
向山	西松浦郡、西山代	日野西義輝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長崎縣	西彼杵郡、崎戸	九州炭礦汽船會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高島	同郡、高島	三菱鑛業會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿野	北松浦郡、鹿野	日本製鐵會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
池野	同郡、池野	靜鑛業會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
松浦	同郡、世知原	松浦炭礦會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
芳野	同郡、佐々	住友鑛業會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
神田	同郡、吉井	靜鑛業會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
住友大瀨	同郡、中里	新中里炭礦會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新中里	同郡、小佐々	矢岳炭礦會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
矢岳	同郡、佐々	日東炭業會社	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
江里	同郡、佐々	同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

〔備考〕夕張炭礦出炭數量中には萬字炭礦の數量を含む。
舊三笠は「神田」、大君は「梅ノ木」、大倉無煙は「中郷」、皆瀬は「新中里」、木戸は「西川」、昭和(福岡縣)は藤田と夫々改稱。

七、最近十年間内地主要炭礦會社別石炭産額調 (單位噸) (本邦鑛業の趨勢) 其他に據る)

鑛業權者	昭和二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年
三井鑛業會社	4,773,337	5,010,468	5,220,477	5,478,059	5,798,554	6,129,980	6,468,450	6,815,400	7,170,700	7,534,300
三菱鑛業會社	3,240,000	3,450,000	3,660,000	3,870,000	4,080,000	4,290,000	4,500,000	4,710,000	4,920,000	5,130,000
北海道炭礦汽船會社	3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,300,000	3,400,000	3,500,000	3,600,000	3,700,000	3,800,000	3,900,000
住友鑛業會社	2,500,000	2,600,000	2,700,000	2,800,000	2,900,000	3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,300,000	3,400,000
貝島炭礦會社	1,500,000	1,600,000	1,700,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000
九州炭礦汽船會社	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,600,000	1,700,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	2,100,000
日本製鐵會社	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,600,000	1,700,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000
日本鑛業會社	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,600,000	1,700,000	1,800,000	1,900,000
岩城炭礦會社	800,000	850,000	900,000	950,000	1,000,000	1,050,000	1,100,000	1,150,000	1,200,000	1,250,000
古河石炭鑛業會社	700,000	750,000	800,000	850,000	900,000	950,000	1,000,000	1,050,000	1,100,000	1,150,000
日本化學工業會社	600,000	650,000	700,000	750,000	800,000	850,000	900,000	950,000	1,000,000	1,050,000
大正鑛業會社	500,000	550,000	600,000	650,000	700,000	750,000	800,000	850,000	900,000	950,000
東見初炭礦會社	400,000	450,000	500,000	550,000	600,000	650,000	700,000	750,000	800,000	850,000
飯塚鑛業會社	300,000	350,000	400,000	450,000	500,000	550,000	600,000	650,000	700,000	750,000
入山探炭會社	200,000	250,000	300,000	350,000	400,000	450,000	500,000	550,000	600,000	650,000
杵島炭礦會社	150,000	160,000	170,000	180,000	190,000	200,000	210,000	220,000	230,000	240,000
雄別炭礦鐵道會社	100,000	110,000	120,000	130,000	140,000	150,000	160,000	170,000	180,000	190,000
海軍省	80,000	85,000	90,000	95,000	100,000	105,000	110,000	115,000	120,000	125,000
中島	70,000	75,000	80,000	85,000	90,000	95,000	100,000	105,000	110,000	115,000
靜岡	60,000	65,000	70,000	75,000	80,000	85,000	90,000	95,000	100,000	105,000
太平洋炭礦會社	50,000	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000	80,000	85,000	90,000	95,000
東邦炭礦會社	40,000	45,000	50,000	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000	80,000	85,000
早良鑛業會社	30,000	35,000	40,000	45,000	50,000	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000
嘉穂鑛業會社	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	45,000	50,000	55,000	60,000	65,000

八、最近十年間朝鮮主要炭礦別石炭産額調

(單位噸)

(朝鮮總督府殖産局嶺山課調査)

炭礦名	産業者	昭和十二年									
		同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年
三神	朝鮮無煙炭株式會社	3,700	3,100	3,500	3,600	3,700	3,800	3,900	4,000	4,100	4,200
文川	同	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900
江東	同	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600	2,700	2,800	2,900
真柏	同	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
大文	同	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100
江文	同	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600	2,700
平壤	朝鮮無煙炭株式會社	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900
大寶	同	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
大成	同	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100
鳳泉	朝鮮無煙炭株式會社	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900
以上		15,000	16,000	17,000	18,000	19,000	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000
其他小炭礦計		1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900
合計		16,000	17,100	18,200	19,300	20,400	21,500	22,600	23,700	24,800	25,900
成興	朝鮮合同炭礦株式會社	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900
鳳儀	同	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100
安州	同	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
沙里院	同	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600	2,700
永安	朝鮮石炭工業株式會社	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900
阿吾地	同	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100
游仙	同	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
鳳山	同	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600	2,700
龍峴	同	1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900
昭氣	同	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100
生嶺	同	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400
青鶴	同	1,800	1,900	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600	2,700
合計		15,000	16,000	17,000	18,000	19,000	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000

炭	指 合	昭和十二年									
		同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年
以上		15,000	16,000	17,000	18,000	19,000	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000
其他小炭礦計		1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900
合計		16,000	17,100	18,200	19,300	20,400	21,500	22,600	23,700	24,800	25,900

〔備考〕 産業者名は昭和十一年末現在のものを記せり。昭和十一年有煙並に無煙合計數量は夫々推定。

九、最近十年間南樺太主要炭礦別石炭産額調

(單位噸)

(樺太廳産産部礦務課調査に據る)

炭礦名	産業者	昭和十二年									
		同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年
大平	樺太鐵業株式會社	7,133	7,133	7,133	7,133	7,133	7,133	7,133	7,133	7,133	7,133
知取	同	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
大知	同	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
川上	三井鐵山株式會社	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
惠須	同	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
内幌	同	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
塔路	同	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
白浦	同	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
鶴集	同	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
煙保	同	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
美田	同	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
其他小炭礦計		1,000	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900
合計		15,000	16,000	17,000	18,000	19,000	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000

〔備考〕 産業者名は昭和十一年一月末現在のものを記せり。

十一、最近十年間滿洲國主要炭礦別石炭産額調

(單位噸) (滿洲國實業部に並に滿鐵調査等に據る)

指合	天					奉			經營者					
	其	牛	本	八	復	掘	内	坑						
數計	心	溪	道	子	煙	塔	龍	新	萬	老	同	東	同	古
	湖	濼	州	安	察	連	鳳	達	虎	南	本	本	本	城
同他 同他														

指合	錦			安興、江三		島間、江濱、林吉			
	其	南	新	指合	其	指合	其	火	
數計	他	票	邱	數計	札	數計	嶺	石	
	同	同	同	同	爾	同	同	嶺	
同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他 同他									

十二、最近十年間北樺太鑛業會社土威炭礦石炭産額並送出高調

炭送出	昭和十二年版石炭統計										
	料	出	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭
數計	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

備考 北樺太鑛業會社は昭和元年に創立、事業に着手せり。

十三、最近十年間世界主要産炭國別石炭産額調

(單位千噸)

(國際聯盟調査)

指 合 數 計	亞 細 亞							指 合 數 計	巴 羅 歐										
	日 本	支 那	滿 洲	英 領 印 度	佛 領 印 度	海 峽 植 民 地	其 他		英 國	獨 逸	佛 蘭 西	波 蘭	白 俄 國	和 國	チ ン 州	西 班 牙	土 耳 其	洪 牙 利	其 他
1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,600,000	1,700,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,600,000	2,700,000	2,800,000	2,900,000
3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,300,000	3,400,000	3,500,000	3,600,000	3,700,000	3,800,000	3,900,000	4,000,000	4,100,000	4,200,000	4,300,000	4,400,000	4,500,000	4,600,000	4,700,000	4,800,000	4,900,000
5,000,000	5,100,000	5,200,000	5,300,000	5,400,000	5,500,000	5,600,000	5,700,000	5,800,000	5,900,000	6,000,000	6,100,000	6,200,000	6,300,000	6,400,000	6,500,000	6,600,000	6,700,000	6,800,000	6,900,000
7,000,000	7,100,000	7,200,000	7,300,000	7,400,000	7,500,000	7,600,000	7,700,000	7,800,000	7,900,000	8,000,000	8,100,000	8,200,000	8,300,000	8,400,000	8,500,000	8,600,000	8,700,000	8,800,000	8,900,000
10,000,000	10,100,000	10,200,000	10,300,000	10,400,000	10,500,000	10,600,000	10,700,000	10,800,000	10,900,000	11,000,000	11,100,000	11,200,000	11,300,000	11,400,000	11,500,000	11,600,000	11,700,000	11,800,000	11,900,000
15,000,000	15,100,000	15,200,000	15,300,000	15,400,000	15,500,000	15,600,000	15,700,000	15,800,000	15,900,000	16,000,000	16,100,000	16,200,000	16,300,000	16,400,000	16,500,000	16,600,000	16,700,000	16,800,000	16,900,000
20,000,000	20,100,000	20,200,000	20,300,000	20,400,000	20,500,000	20,600,000	20,700,000	20,800,000	20,900,000	21,000,000	21,100,000	21,200,000	21,300,000	21,400,000	21,500,000	21,600,000	21,700,000	21,800,000	21,900,000
25,000,000	25,100,000	25,200,000	25,300,000	25,400,000	25,500,000	25,600,000	25,700,000	25,800,000	25,900,000	26,000,000	26,100,000	26,200,000	26,300,000	26,400,000	26,500,000	26,600,000	26,700,000	26,800,000	26,900,000
30,000,000	30,100,000	30,200,000	30,300,000	30,400,000	30,500,000	30,600,000	30,700,000	30,800,000	30,900,000	31,000,000	31,100,000	31,200,000	31,300,000	31,400,000	31,500,000	31,600,000	31,700,000	31,800,000	31,900,000

指 合 數 計	北 米				中 南 米				阿 弗 利 加				大 洋 洲				指 合 數 計
	北 美	加 拿 大	其 他	指 合 數 計	智 利	秘 魯	阿 根 廷	其 他	指 合 數 計	英 屬 西 伯 利亞	荷 屬 東 印度	日 本	其 他	指 合 數 計			
															指 合 數 計	指 合 數 計	
1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,400,000	1,500,000	1,600,000	1,700,000	1,800,000	1,900,000	2,000,000	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000			
3,000,000	3,100,000	3,200,000	3,300,000	3,400,000	3,500,000	3,600,000	3,700,000	3,800,000	3,900,000	4,000,000	4,100,000	4,200,000	4,300,000	4,400,000			
5,000,000	5,100,000	5,200,000	5,300,000	5,400,000	5,500,000	5,600,000	5,700,000	5,800,000	5,900,000	6,000,000	6,100,000	6,200,000	6,300,000	6,400,000			
7,000,000	7,100,000	7,200,000	7,300,000	7,400,000	7,500,000	7,600,000	7,700,000	7,800,000	7,900,000	8,000,000	8,100,000	8,200,000	8,300,000	8,400,000			
10,000,000	10,100,000	10,200,000	10,300,000	10,400,000	10,500,000	10,600,000	10,700,000	10,800,000	10,900,000	11,000,000	11,100,000	11,200,000	11,300,000	11,400,000			
15,000,000	15,100,000	15,200,000	15,300,000	15,400,000	15,500,000	15,600,000	15,700,000	15,800,000	15,900,000	16,000,000	16,100,000	16,200,000	16,300,000	16,400,000			
20,000,000	20,100,000	20,200,000	20,300,000	20,400,000	20,500,000	20,600,000	20,700,000	20,800,000	20,900,000	21,000,000	21,100,000	21,200,000	21,300,000	21,400,000			
25,000,000	25,100,000	25,200,000	25,300,000	25,400,000	25,500,000	25,600,000	25,700,000	25,800,000	25,900,000	26,000,000	26,100,000	26,200,000	26,300,000	26,400,000			
30,000,000	30,100,000	30,200,000	30,300,000	30,400,000	30,500,000	30,600,000	30,700,000	30,800,000	30,900,000	31,000,000	31,100,000	31,200,000	31,300,000	31,400,000			

【備考】日本の産額中には朝鮮、臺灣、南樺太の産額を含み、ソ聯邦の産額中には露領亞細亞の産額を含む。※印は推定数量。
本表には年産五十萬噸以上のものを掲載す。北米合衆國、和蘭、滿洲國には少量のリグナイトを含む。

十四、最近十年間世界主要骸炭產出國別產額調

(單位千噸)

(國際聯盟調查)

Table showing world coal production by country from 1921 to 1931. Columns include country names (e.g., 獨逸, 英國, 法國, 美國, 蘇聯), production types (e.g., 瓦骸, 工骸), and production amounts in thousands of tons for each year.

【備考】本表には年産十萬噸以上のもののみを含む。骸炭は骸炭窯、瓦工は瓦斯工場。

十五、最近十年間世界亞炭產出國別產額調

(單位千噸、カロリーに依り石炭に換算)

(國際聯盟調查)

Table showing world coal production by country from 1921 to 1931, specifically for Asia. Columns include country names (e.g., 獨逸, 英國, 法國, 美國, 蘇聯), production types (e.g., 瓦骸, 工骸), and production amounts in thousands of tons for each year.

【備考】※印は推定數量
昭和十二年版石炭統計

合計	北海道			州										
	常磐炭		北海炭	小計	松浦炭		北松浦炭							
	増	減			増	減								
増	減	高	増	減	高	増	減	高	増	減	高	増	減	高
110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000

九													
高島炭		崎戸炭		松島炭		三池炭		佐賀炭		精屋炭		筑豊炭	
増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減
110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000

昭和十二年版石炭統計
 十六、最近十六年間石炭鑛業聯合會調節送炭實績調
 (單位噸△印減)
 (石炭聯合會調査)

十六、最近十六年間に石炭鑛業聯合會調節送炭実績調

(單位噸△印減) (石炭聯合會調査)

九	筑豊炭		精屋炭		佐賀炭		三池炭		松島炭		崎戸炭		高島炭	
	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減
同四年度	二,四三三,七六六	二,四三三,七六六	七三三,八三三	七三三,八三三	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇
同五年度	九,九三三,九三三	九,九三三,九三三	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇
同六年度	八,八三三,八三三	八,八三三,八三三	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇
同七年度	七,七三三,七三三	七,七三三,七三三	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇
同八年度	八,八三三,八三三	八,八三三,八三三	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇
同九年度	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇
同十年度	九,九三三,九三三	九,九三三,九三三	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇
同十一年度	一〇,〇三三,〇三三	一〇,〇三三,〇三三	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇

州	北松浦炭		松浦炭		小計
	増	減	増	減	
北松浦炭	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
松浦炭	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
小計	二〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇

〔備考〕一、本表に於ては會、組合別とせず、筑豊炭、北海道炭と云ふが如く地方炭を以て區別せり。隨て其年度に於て別途扱又は新加入扱となりたる分をも含む。

二、本表に於ては入會又は退會に就ては過去に遡り其分の加減を爲さず、即ち或年度に於て非加盟炭なりしもの他の年度には加盟炭となる。

三、大正十年度は八ヶ月、昭和九年度は十五ヶ月、同十年以降は會計年度、其他は曆年度なり。

四、大正十四年度は送炭調節撤廢せられたるに就き送炭豫想高と送炭実績との比較を掲げたり。

五、昭和十一年度當節調節高並に實送高中には退會せる福島炭礦下期分を含みます。

十七、最近十年間全國送炭地方別内譯調 (單位噸)

(石炭聯合會調査)

指 總	州														
	山 口	常 磐	北 海 道	合 計			小 松	北 松	高 島	崎 戸	松 島	三 池	佐 賀	精 屋	筑 豊
				炭	炭	炭									
昭和十二年	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000
同 三 年	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000
同 四 年	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000
同 五 年	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000
同 六 年	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000
同 七 年	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000
同 八 年	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000
同 九 年	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000
同 十 年	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000
同 十 一 年	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000	1,170,000

〔備考〕 本表及次表には前表調師送炭以外に沈澱炭、山焚炭炭其他石炭聯合會に加入せざる炭礦の送炭をも含む。

十八、最近十年間全國送炭月別内譯調 (單位噸)

(石炭聯合會調査)

年	月	別 別													
		一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十	計		
昭和十二年	一月	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000
同 三 年	一月	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000
同 四 年	一月	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000
同 五 年	一月	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000
同 六 年	一月	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000
同 七 年	一月	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000
同 八 年	一月	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000
同 九 年	一月	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000
同 十 年	一月	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000
同 十 一 年	一月	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,200,000

十九、最近十年間各月末内地貯炭高調

(單位 吨)

(石炭聯合會調査)

月	一	二	三	四	五	六
市港計	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
北九州	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
海	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
道	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
州	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
昭和二年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
同三年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
同四年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
同五年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
同六年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
同七年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
同八年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
同九年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
同十年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
同十一年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000

月	七	八	九	十	十一	十二
市港計	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
北九州	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
海	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
道	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
州	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
昭和九年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
同十年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000
同十一年	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000	1,210,000

(備考) 昭和九年以降の貯炭には掘石、無煙炭及水上貯炭を含みます。

二十、最近十年間石炭國別輸出入高調

(單位噸)

(石炭聯合會調査)

輸出入超過	輸出		輸入		輸出入超過	輸出		輸入	
	指數	數量	指數	數量		指數	數量	指數	數量
中華民國	100	1,771,955	100	1,771,955	100	1,771,955	100	1,771,955	
香港	100	3,742,717	100	3,742,717	100	3,742,717	100	3,742,717	
海峽殖民地	100	3,011,661	100	3,011,661	100	3,011,661	100	3,011,661	
比律賓	100	1,408,996	100	1,408,996	100	1,408,996	100	1,408,996	
其他	100	6,600,000	100	6,600,000	100	6,600,000	100	6,600,000	
合計	100	11,535,335	100	11,535,335	100	11,535,335	100	11,535,335	
滿洲國	100	1,744,955	100	1,744,955	100	1,744,955	100	1,744,955	
中華民國	100	3,011,661	100	3,011,661	100	3,011,661	100	3,011,661	
佛領印度支那	100	3,011,661	100	3,011,661	100	3,011,661	100	3,011,661	
佛領緬甸	100	3,011,661	100	3,011,661	100	3,011,661	100	3,011,661	
其他	100	1,011,661	100	1,011,661	100	1,011,661	100	1,011,661	
合計	100	11,535,335	100	11,535,335	100	11,535,335	100	11,535,335	

〔備考〕大藏省主稅局關稅課及「本邦鐵業の趨勢」等に據る。

廿一、最近十年間石炭移出高調

(單位噸、※印入超)

(石炭聯合會調査)

移出	移出		移出		移出	移出		移出	
	指數	數量	指數	數量		指數	數量	指數	數量
朝鮮	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	
南洋	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	
臺灣	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	
臺灣	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	
臺灣	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	
合計	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	
朝鮮	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	
南洋	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	
臺灣	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	
臺灣	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	
臺灣	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	
合計	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	100	1,100,000	

〔備考〕本邦鐵業の趨勢、朝鮮總督府殖産局鐵山課、樺太廳殖産部鐵務課、臺灣鐵業會誌、石炭時報集散調其他の調査に據る。

廿五、最近十年間上海石炭輸入高調 (單位噸)

指合	支海支山開	日臺朝北宇肥筑三	炭	年度
數計	支海支山開 那防那 雜無 炭煙煙東平順	本 海 計 灣鮮道部前豐池	炭	年度
100	100	100	100	昭和二年
100	100	100	100	同三年
100	100	100	100	同四年
100	100	100	100	同五年
100	100	100	100	同六年
100	100	100	100	同七年
100	100	100	100	同八年
100	100	100	100	同九年
100	100	100	100	同十年
100	100	100	100	同十一年

廿六、最近十年間香港石炭輸入高調 (單位噸)

指合	其北濠英南印	日開	炭	年度
數計	支洲國阿度本防基平順本	日開 本	炭	年度
100	100	100	100	昭和二年
100	100	100	100	同三年
100	100	100	100	同四年
100	100	100	100	同五年
100	100	100	100	同六年
100	100	100	100	同七年
100	100	100	100	同八年
100	100	100	100	同九年
100	100	100	100	同十年
100	100	100	100	同十一年

廿七、最近十年間新嘉坡石炭輸入高調 (單位噸)

指合	其佛英濠	日開	炭	年度
數計	印國洲下度ネ阿順本	日開 本	炭	年度
100	100	100	100	昭和二年
100	100	100	100	同三年
100	100	100	100	同四年
100	100	100	100	同五年
100	100	100	100	同六年
100	100	100	100	同七年
100	100	100	100	同八年
100	100	100	100	同九年
100	100	100	100	同十年
100	100	100	100	同十一年

廿八、最近十年間馬尼刺石炭輸入高調 (單位噸)

指合	其印支英鴻米濠南	日開	炭	年度
數計	度那國基國洲阿ネ順本	日開 本	炭	年度
100	100	100	100	昭和二年
100	100	100	100	同三年
100	100	100	100	同四年
100	100	100	100	同五年
100	100	100	100	同六年
100	100	100	100	同七年
100	100	100	100	同八年
100	100	100	100	同九年
100	100	100	100	同十年
100	100	100	100	同十一年

廿九、最近十年間内地炭集散仕向別調

(單位越)

(石炭聯合會調査)

船	移 出			輸 出			内地送 出				
	外 船	内 船		山 口 炭	北 海 道 炭	九 州 炭	山 口 炭	常 磐 炭	北 海 道 炭	九 州 炭	計
		計	北 海 道 炭								
北 海 道 炭	5,127	5,566	1,177	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
九 州 炭	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177
計	6,304	6,743	2,354	2,661	2,661	2,661	2,661	2,661	2,661	2,661	2,661
北 海 道 炭	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177
九 州 炭	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177	1,177
計	2,354	2,354	2,354	2,354	2,354	2,354	2,354	2,354	2,354	2,354	2,354
山 口 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
北 海 道 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
九 州 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
計	4,452	4,452	4,452	4,452	4,452	4,452	4,452	4,452	4,452	4,452	4,452
山 口 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
常 磐 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
北 海 道 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
九 州 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
計	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936
山 口 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
常 磐 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
北 海 道 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
九 州 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
計	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936
山 口 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
常 磐 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
北 海 道 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
九 州 炭	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
計	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936	5,936

指 合 計	合 計				他 其 賣 地				炭 納 道 鐵 接 直				料 焚		
	山 口 炭	常 磐 炭	北 海 道 炭	九 州 炭	山 口 炭	常 磐 炭	北 海 道 炭	九 州 炭	山 口 炭	常 磐 炭	北 海 道 炭	九 州 炭	計	九 州 炭	船
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101
102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102
103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103
104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104
105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105
106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106
107	107	107	107	107	107	107	107	107	107	107	107	107	107	107	107
108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108
109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109
110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111
112	112	112	112	112	112	112	112	112	112	112	112	112	112	112	112
113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113
114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114
115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115
116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116
117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117
118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118
119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119
120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120

〔備考〕 本表数量中には官營炭を含む。

本表鐵道納炭は直接炭礦に於て鐵道用として積込む數量のみにして、最初炭礦より他の地方へ送出し、後更に鐵道用に供せらるゝ所謂場所納のもの調査困難のため之を計上せず。

昭和十二年版石炭統計

〔備考〕本表數量中には輸移出炭、船舶燃料炭、直接鐵道納炭、地賣炭等を含みます。
昭和十二年販石炭統計

計	指 數								
	山北九州	常北九州	北九州	九州	北九州	九州	北九州	九州	北九州
計	山北九州	常北九州	北九州	九州	北九州	九州	北九州	九州	北九州
炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
101	101	101	101	101	101	101	101	101	101
102	102	102	102	102	102	102	102	102	102
103	103	103	103	103	103	103	103	103	103
104	104	104	104	104	104	104	104	104	104
105	105	105	105	105	105	105	105	105	105
106	106	106	106	106	106	106	106	106	106
107	107	107	107	107	107	107	107	107	107
108	108	108	108	108	108	108	108	108	108
109	109	109	109	109	109	109	109	109	109
110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
111	111	111	111	111	111	111	111	111	111
112	112	112	112	112	112	112	112	112	112
113	113	113	113	113	113	113	113	113	113
114	114	114	114	114	114	114	114	114	114
115	115	115	115	115	115	115	115	115	115
116	116	116	116	116	116	116	116	116	116
117	117	117	117	117	117	117	117	117	117
118	118	118	118	118	118	118	118	118	118
119	119	119	119	119	119	119	119	119	119
120	120	120	120	120	120	120	120	120	120
121	121	121	121	121	121	121	121	121	121
122	122	122	122	122	122	122	122	122	122
123	123	123	123	123	123	123	123	123	123
124	124	124	124	124	124	124	124	124	124
125	125	125	125	125	125	125	125	125	125
126	126	126	126	126	126	126	126	126	126
127	127	127	127	127	127	127	127	127	127
128	128	128	128	128	128	128	128	128	128
129	129	129	129	129	129	129	129	129	129
130	130	130	130	130	130	130	130	130	130
131	131	131	131	131	131	131	131	131	131
132	132	132	132	132	132	132	132	132	132
133	133	133	133	133	133	133	133	133	133
134	134	134	134	134	134	134	134	134	134
135	135	135	135	135	135	135	135	135	135
136	136	136	136	136	136	136	136	136	136
137	137	137	137	137	137	137	137	137	137
138	138	138	138	138	138	138	138	138	138
139	139	139	139	139	139	139	139	139	139
140	140	140	140	140	140	140	140	140	140
141	141	141	141	141	141	141	141	141	141
142	142	142	142	142	142	142	142	142	142
143	143	143	143	143	143	143	143	143	143
144	144	144	144	144	144	144	144	144	144
145	145	145	145	145	145	145	145	145	145
146	146	146	146	146	146	146	146	146	146
147	147	147	147	147	147	147	147	147	147
148	148	148	148	148	148	148	148	148	148
149	149	149	149	149	149	149	149	149	149
150	150	150	150	150	150	150	150	150	150

昭和十二年販石炭統計

三十、最近十年間内地炭地方別送出高内譯調 (單位噸)

國 四 陽 山 灣 勢 伊 濱 京 神 阪	指 數									
	山北九州	常北九州	北九州	九州	北九州	九州	北九州	九州	北九州	九州
計	山北九州	常北九州	北九州	九州	北九州	九州	北九州	九州	北九州	九州
炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101
102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102
103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103
104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104
105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105
106	106	106	106	106	106	106	106	106	106	106
107	107	107	107	107	107	107	107	107	107	107
108	108	108	108	108	108	108	108	108	108	108
109	109	109	109	109	109	109	109	109	109	109
110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
111	111	111	111	111	111	111	111	111	111	111
112	112	112	112	112	112	112	112	112	112	112
113	113	113	113	113	113	113	113	113	113	113
114	114	114	114	114	114	114	114	114	114	114
115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115
116	116	116	116	116	116	116	116	116	116	116
117	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117
118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118
119	119	119	119	119	119	119	119	119	119	119
120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120
121	121	121	121	121	121	121	121	121	121	121
122	122	122	122	122	122	122	122	122	122	122
123	123	123	123	123	123	123	123	123	123	123
124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124
125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125
126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126
127	127	127	127	127	127	127	127	127	127	127
128	128	128	128	128	128	128	128	128	128	128
129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129
130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130
131	131	131	131	131	131	131	131	131	131	131
132	132	132	132	132	132	132	132	132	132	132
133	133	133	133	133	133	133	133	133	133	133
134	134	134	134	134	134	134	134	134	134	134
135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135
136	136	136	136	136	136	136	136	136	136	136
137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137
138	138	138	138	138	138	138	138	138	138	138
139	139	139	139	139	139	139	139	139	139	139
140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140
141	141	141	141	141	141	141	141	141	141	141
142	142	142	142	142	142	142	142	142	142	142
143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143
144	144	144	144	144	144	144	144	144	144	144
145	145	145	145	145	145	145	145	145	145	145
146	146	146	146	146	146	146	146	146	146	146
147	147	147	147	147	147	147	147	147	147	147
148	148	148	148	148	148	148	148	148	148	148
149	149	149	149	149	149	149	149	149	149	149
150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150

(石炭聯合會調査)

三十二、最近十年間京濱地方(東京、横濱、川崎)入着炭高調

(單位噸) (石炭聯合會調査)

指 合 炭 入 輸 炭 入 移 炭 地 内	指 數 計	昭和十二年														
		同 年														
		九州	北 海 道	常 磐 炭 山	岩 山 手 炭	計	朝 鮮 炭	臺 灣 炭	南 洋 炭	計	滿 洲 炭	支 那 炭	佛 領 印 度 炭	北 洋 炭	計	散 炭、 燐 石、 其 他
1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000

(備考) 東京石炭同業組合、神奈川縣石炭同業組合調査に據る。

卅三、最近十年間東京入着炭高調

(單位噸)

(東京石炭同業組合調査)

指 合 炭 入 輸 炭 入 移 炭 地 内	指 數 計	昭和十二年														
		同 年														
		九州	北 海 道	常 磐 炭 山	岩 山 手 炭	計	朝 鮮 炭	臺 灣 炭	南 洋 炭	計	滿 洲 炭	支 那 炭	佛 領 印 度 炭	北 洋 炭	計	散 炭、 燐 石、 其 他
1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000	1,171,000

卅四、最近十年間横濱港入着炭高調 (單位噸)

(神奈川縣石炭同業組合調査)

指 合	數 計	炭 入 輸				炭 入 移			炭 地 内				
		計	北 樺 太 炭	佛 領 印 度 炭	支 那 炭	計	南 樺 太 炭	臺 灣 炭	朝 鮮 炭	計	山 口 炭	北 海 道 炭	九 州 炭
昭和二年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同三年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同四年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同五年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同六年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同七年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同八年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同九年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同十年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同十一年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	

卅五、最近十年間川崎港入着炭高調 (單位噸)

(神奈川縣石炭同業組合調査)

指 合	數 計	炭 入 輸				炭 入 移			炭 地 内				
		計	北 樺 太 炭	佛 領 印 度 炭	支 那 炭	計	南 樺 太 炭	臺 灣 炭	朝 鮮 炭	計	山 口 炭	北 海 道 炭	九 州 炭
昭和二年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同三年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同四年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同五年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同六年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同七年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同八年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同九年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同十年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	
同十一年	100	1,121,111	1,121,111	—	—	—	—	—	1,121,111	—	—	—	

(備考) 川崎港は昭和三年に石炭荷役設備建設せらる。

昭和十二年版石炭統計

卅六、最近十年間名古屋港入着炭高調

(單位噸)

(愛知石炭協會調查)

指合	數計	炭入輸			炭地内	炭名
		其佛滿	南支朝	其山北九		
計	計	領印那洲	樺灣鮮	計	海州	
他炭炭	炭炭炭	炭炭炭	炭炭炭	他炭炭	道炭炭	
昭和二年	1,232,000	35,000	12,000	785,000	785,000	
同三年	1,000,000	38,000	13,000	764,000	764,000	
同四年	1,000,000	40,000	14,000	766,000	766,000	
同五年	1,000,000	42,000	15,000	758,000	758,000	
同六年	1,000,000	45,000	16,000	745,000	745,000	
同七年	1,000,000	48,000	17,000	735,000	735,000	
同八年	1,000,000	50,000	18,000	722,000	722,000	
同九年	1,000,000	52,000	19,000	718,000	718,000	
同十年	1,000,000	55,000	20,000	705,000	705,000	
同十一年	1,000,000	58,000	21,000	692,000	692,000	

卅七、最近十年間伊勢灣入着炭高調

(單位噸)

(愛知石炭協會調查)

指合	數計	炭入輸			炭地内	炭名
		其佛滿	南支朝	其山北九		
計	計	領印那洲	樺灣鮮	計	海州	
他炭炭	炭炭炭	炭炭炭	炭炭炭	他炭炭	道炭炭	
昭和二年	1,100,000	30,000	10,000	770,000	770,000	
同三年	1,100,000	32,000	11,000	767,000	767,000	
同四年	1,100,000	34,000	12,000	764,000	764,000	
同五年	1,100,000	36,000	13,000	764,000	764,000	
同六年	1,100,000	38,000	14,000	752,000	752,000	
同七年	1,100,000	40,000	15,000	740,000	740,000	
同八年	1,100,000	42,000	16,000	738,000	738,000	
同九年	1,100,000	44,000	17,000	736,000	736,000	
同十年	1,100,000	46,000	18,000	724,000	724,000	
同十一年	1,100,000	48,000	19,000	712,000	712,000	

卅八、最近十年間大阪港入着炭高調

(單位噸)

(大阪石炭協會調查)

指合	數計	炭入輸			炭地内	炭名
		其佛滿	南支朝	其山北九		
計	計	領印那洲	樺灣鮮	計	海州	
他炭炭	炭炭炭	炭炭炭	炭炭炭	他炭炭	道炭炭	
昭和二年	1,000,000	25,000	8,000	773,000	773,000	
同三年	1,000,000	27,000	9,000	764,000	764,000	
同四年	1,000,000	29,000	10,000	761,000	761,000	
同五年	1,000,000	31,000	11,000	758,000	758,000	
同六年	1,000,000	33,000	12,000	755,000	755,000	
同七年	1,000,000	35,000	13,000	752,000	752,000	
同八年	1,000,000	37,000	14,000	748,000	748,000	
同九年	1,000,000	39,000	15,000	742,000	742,000	
同十年	1,000,000	41,000	16,000	739,000	739,000	
同十一年	1,000,000	43,000	17,000	737,000	737,000	

卅九、最近十年間神戸港入着炭高調

(單位噸)

(神戸石炭同業組合調查)

指合	數計	炭入輸			炭地内	炭名
		其佛滿	南支朝	其山北九		
計	計	領印那洲	樺灣鮮	計	海州	
他炭炭	炭炭炭	炭炭炭	炭炭炭	他炭炭	道炭炭	
昭和二年	1,000,000	20,000	7,000	773,000	773,000	
同三年	1,000,000	22,000	8,000	770,000	770,000	
同四年	1,000,000	24,000	9,000	767,000	767,000	
同五年	1,000,000	26,000	10,000	764,000	764,000	
同六年	1,000,000	28,000	11,000	762,000	762,000	
同七年	1,000,000	30,000	12,000	758,000	758,000	
同八年	1,000,000	32,000	13,000	755,000	755,000	
同九年	1,000,000	34,000	14,000	752,000	752,000	
同十年	1,000,000	36,000	15,000	744,000	744,000	
同十一年	1,000,000	38,000	16,000	732,000	732,000	

四十、最近十年間本邦内地並に領土に於ける石炭需給調 (單位噸) (石炭聯合會調査)

Table showing coal supply and demand in Japan and territories from 1921 to 1927. Columns include '内地' (Inland), '領土' (Territories), and '推定需要' (Estimated Demand). Rows list years from 昭和二年 to 昭和十一年.

Table showing coal supply and demand in Korea (大韓南) from 1921 to 1927. Columns include '推定需要高總計' (Total Estimated Demand) and '推定需要' (Estimated Demand). Rows list years from 昭和二年 to 昭和十一年.

〔備考〕一、本表の需要數量中には、有煙、無煙、燧石等各炭種を包括し炭礦の自家用炭は勿論、輸移出以外の一切の消費數量を計上す。二、商工省鑛山局、大藏省主稅局、朝鮮總督府殖産局鑛山課、臺灣總督府殖産局鑛務課、樺太廳殖産部鑛務課等の調査に據る。

四十一、最近十年間内地石炭推定消費高調 (單位噸) (石炭聯合會調査)

Table showing estimated coal consumption in Japan from 1921 to 1927. Columns include '推定消費高' (Estimated Consumption) and '推定需要' (Estimated Demand). Rows list years from 昭和二年 to 昭和十一年.

〔備考〕本表數量中には炭礦の自家用炭を含みず。昭和十二年版石炭統計

四十二、最近十年間朝鮮臺灣及南樺太に於ける用途別石炭消費高調 (單位噸) (石炭聯合會調査)

用途別	昭和二年		同三年		同四年		同五年		同六年		同七年		同八年		同九年		同十年		同十一年	
	消費高	比率	消費高	比率	消費高	比率	消費高	比率	消費高	比率	消費高	比率	消費高	比率	消費高	比率	消費高	比率	消費高	比率
朝鮮	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
臺灣	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
南樺太	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
朝鮮	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
臺灣	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
南樺太	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100

【備考】本表は朝鮮總督府殖産局鐵山課、臺灣總督府殖産局鐵務課、樺太廳殖産部鐵務課の調査に據る。

四十三、最近四年間日本内地に於ける産業別石炭消費高調 (單位千噸)

(昭和石炭株式會社調査に據る)

産業別	昭和八年		同九年		同十年		同十一年	
	消費高	比率	消費高	比率	消費高	比率	消費高	比率
重工業	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
化學工業	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
船舶燃料	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
鐵道	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
紡織業	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
窯業	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
電力業	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
瓦斯、熱炭業	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
食品業	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100
其他	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100	1,480,942	100

【備考】一、昭和八年度は曆年、九年度以降は會計年度。

二、昭和十年並に十一年度無煙炭消費高は推定數量。

四十四、昭和八年東京府下に於ける産業別石炭消費高調 (單位噸) (東京石炭同業組合調査)

Table showing coal consumption by industry in Tokyo Prefecture in 1933. Columns include industry type (e.g., power, chemical, textile), region (e.g., Kyushu, Hokkaido, Tohoku), and consumption volume in tons.

四十五、昭和八年神奈川縣に於ける産業別石炭消費高調 (單位噸) (神奈川縣石炭同業組合調査)

Table showing coal consumption by industry in Kanagawa Prefecture in 1933. Columns include industry type (e.g., power, chemical, textile), region (e.g., Tohoku, Kanto, Chugoku), and consumption volume in tons.

四十六、最近五年間大阪府下に於ける産業別石炭消費高調 (單位噸) (大阪石炭協會調査)

Large table showing coal consumption by industry in Osaka Prefecture from 1928 to 1933. Columns include industry type (e.g., power, chemical, textile, food), consumption volume in tons, and year.

四十七、最近四年間神戸市に於ける産業別石炭消費高調

(單位噸) (神戸石炭同業組合調査)

Table showing coal consumption by industry in Kobe from 1935 to 1937. Columns include industry type (e.g., 造船, 製鋼), units (噸), and years.

四十八、最近四年間尼ヶ崎市に於ける産業別石炭消費高調

(單位噸) (大阪石炭協會調査)

Table showing coal consumption by industry in Niigata City from 1935 to 1937. Columns include industry type (e.g., 電力, 窯業), units (噸), and years.

四十九、最近九年間地方別炭鑛夫平均就業時間並就業日數調

(日本銀行調査)

Large table showing average working hours and days for coal miners by region from 1931 to 1939. Columns include region (e.g., 北海道, 北陸道), year, time (時間), and days (日數).

〔備考〕調査炭鑛数は各年多小の變動あるも大體七十餘乃至百五に達す。

指 数	合 計		外 坑																
			計		雜 夫	工 作 夫	機 械 夫	運 搬 夫	選 炭 夫	採 炭 夫									
	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	
100	31,747	1,747	30,000	1,200	1,800	2,000	1,500	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
九九	30,800	1,600	29,200	1,100	1,700	1,900	1,400	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900
九六	29,800	1,500	28,300	1,000	1,600	1,800	1,300	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800
九四	28,800	1,400	27,400	900	1,500	1,700	1,200	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700
九二	27,800	1,300	26,500	800	1,400	1,600	1,100	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600
九〇	26,800	1,200	25,600	700	1,300	1,500	1,000	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
八八	25,800	1,100	24,700	600	1,200	1,400	900	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400
八六	24,800	1,000	23,800	500	1,100	1,300	800	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
八四	23,800	900	22,900	400	1,000	1,200	700	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
八二	22,800	800	22,000	300	900	1,100	600	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
八〇	21,800	700	21,100	200	800	1,000	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

職 別	合 計		内 坑																
			計		雜 夫	工 作 夫	機 械 夫	運 搬 夫	後 山	支 柱 夫	採 炭 夫								
	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	
昭和二年	31,747	1,747	30,000	1,200	1,800	2,000	1,500	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
同三年	30,800	1,600	29,200	1,100	1,700	1,900	1,400	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900
同四年	29,800	1,500	28,300	1,000	1,600	1,800	1,300	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800	800
同五年	28,800	1,400	27,400	900	1,500	1,700	1,200	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700
同六年	27,800	1,300	26,500	800	1,400	1,600	1,100	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600
同七年	26,800	1,200	25,600	700	1,300	1,500	1,000	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
同八年	25,800	1,100	24,700	600	1,200	1,400	900	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400
同九年	24,800	1,000	23,800	500	1,100	1,300	800	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
同十年	23,800	900	22,900	400	1,000	1,200	700	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
同十一年	22,800	800	22,000	300	900	1,100	600	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
同十二年	21,800	700	21,100	200	800	1,000	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

五十、最近十年間各年六月末現在に於ける石炭山鑛夫數調

(本邦鐵業の趨勢)其他に據る)

五十一、最近十年間炭鑛夫異動調

(内務省社會局調査)

年	道 海 北				縣 口 山 及 州 九			
	雇 解		入 雇		雇 解		入 雇	
	坑 外	坑 内	坑 外	坑 内	坑 外	坑 内	坑 外	坑 内
昭和二年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同三年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同四年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同五年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同六年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同七年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同八年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同九年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同十年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同十一年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男

年	合 計							
	雇 解				入 雇			
	坑 外		坑 内		坑 外		坑 内	
昭和二年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同三年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同四年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同五年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同六年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同七年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同八年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同九年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同十年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
同十一年	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男

〔備考〕 本表中には常時五十人以上雇傭せる炭鑛の鑛夫のみを計上す。
合計人員中には九州、山口縣、北海道、常磐以外の地方の鑛夫数をも包含す。

五十二、最近四年間石炭山鑛夫扶助調 (單位圓)

(内務省社會局調査)

合 計	其の他のもの	三十日以上 の休業扶 助料を受け たるもの	打切扶助料 を受けた もの	のもるたけ受を料助扶害障					死 者	結 末 別 男 女 別	年 別	昭和		八年		同		九年		
				計	第 四 號	第 二 十 號	第 二 十 號	第 一 十 號				計	扶 助 人 員	扶 助 料	扶 助 人 員	扶 助 料	扶 助 人 員	扶 助 料	扶 助 人 員	扶 助 料
八、八六八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
八、八六八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
八、八六八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	

合 計	其の他のもの	三十日以上 の休業扶 助料を受け たるもの	打切扶助料 を受けた もの	のもるたけ受を料助扶害障					死 者	結 末 別 男 女 別	年 別	同		十年		同		十一年	
				計	第 四 號	第 二 十 號	第 二 十 號	第 一 十 號				計	扶 助 人 員	扶 助 料	扶 助 人 員	扶 助 料	扶 助 人 員	扶 助 料	
																			男
九、七三六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
九、七三六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
九、七三六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

〔備考〕 鐵業法に據るもの。

五十三、最近九年间石炭山健康保險組合數、被保險者數、給付件數・日數及金額一覽表

(内務省社會局調査に據る)

料 理 費	費 養 療			金 當 手 病 傷			平均 保險 料 率	平均 標準 報酬 日 額	被 保 險 者 數	組 合 數	
	給 付 金 額	給 付 日 數	給 付 件 數	給 付 金 額	給 付 日 數	給 付 件 數					
計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	昭 和 元 年
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	同 二 年
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	同 三 年
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	同 四 年
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	同 五 年
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	同 六 年
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	同 七 年
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	同 八 年
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	同 九 年

額 總 付 給	付 給 の 養 療			計 上 以			其 他 の 給 付	分 娩 費	費 葬 理	
	給 付 金 額	給 付 日 數	給 付 件 數	給 付 金 額	給 付 日 數	給 付 件 數			給 付 金 額	給 付 件 數
計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男	計 女 男
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

(備考) 健康保險法に據るもの。給付金額單位は圓。

五十四、最近十年間炭鑛夫一工當平均賃金調

(單位厘)

(本邦鑛業の趨勢に據る)

賃金支拂總額(千圓)	福		阪		大		京		東		臺		仙		幌		札		昭和元年下期 同二年 同三年 同四年 同五年 同六年 同七年 同八年 同九年 同十年
	平均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	
女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	女男女男	
七、七〇	一、三六	一、三三	一、三〇	一、二七	一、二四	一、二一	一、一八	一、一五	一、一二	一、〇九	一、〇六	一、〇三	一、〇〇	九、六七	一、六三	一、五九	一、五六	一、五二	一、四八
一、〇二	一、〇〇	九、八〇	九、七〇	九、六〇	九、五〇	九、四〇	九、三〇	九、二〇	九、一〇	九、〇〇	八、九〇	八、八〇	八、七〇	八、六〇	八、五〇	八、四〇	八、三〇	八、二〇	八、一〇
七、七〇	一、三六	一、三三	一、三〇	一、二七	一、二四	一、二一	一、一八	一、一五	一、一二	一、〇九	一、〇六	一、〇三	一、〇〇	九、六七	一、六三	一、五九	一、五六	一、五二	一、四八
七、七〇	一、三六	一、三三	一、三〇	一、二七	一、二四	一、二一	一、一八	一、一五	一、一二	一、〇九	一、〇六	一、〇三	一、〇〇	九、六七	一、六三	一、五九	一、五六	一、五二	一、四八
七、七〇	一、三六	一、三三	一、三〇	一、二七	一、二四	一、二一	一、一八	一、一五	一、一二	一、〇九	一、〇六	一、〇三	一、〇〇	九、六七	一、六三	一、五九	一、五六	一、五二	一、四八
七、七〇	一、三六	一、三三	一、三〇	一、二七	一、二四	一、二一	一、一八	一、一五	一、一二	一、〇九	一、〇六	一、〇三	一、〇〇	九、六七	一、六三	一、五九	一、五六	一、五二	一、四八
七、七〇	一、三六	一、三三	一、三〇	一、二七	一、二四	一、二一	一、一八	一、一五	一、一二	一、〇九	一、〇六	一、〇三	一、〇〇	九、六七	一、六三	一、五九	一、五六	一、五二	一、四八
七、七〇	一、三六	一、三三	一、三〇	一、二七	一、二四	一、二一	一、一八	一、一五	一、一二	一、〇九	一、〇六	一、〇三	一、〇〇	九、六七	一、六三	一、五九	一、五六	一、五二	一、四八
七、七〇	一、三六	一、三三	一、三〇	一、二七	一、二四	一、二一	一、一八	一、一五	一、一二	一、〇九	一、〇六	一、〇三	一、〇〇	九、六七	一、六三	一、五九	一、五六	一、五二	一、四八
七、七〇	一、三六	一、三三	一、三〇	一、二七	一、二四	一、二一	一、一八	一、一五	一、一二	一、〇九	一、〇六	一、〇三	一、〇〇	九、六七	一、六三	一、五九	一、五六	一、五二	一、四八

五十五、最近十年間炭鑛變災事由別災害回數調

(本邦鑛業の趨勢に據る)

合 計	坑 外						坑 内						變災事由別		
	計	不詳並其他	踏落或は轉倒	工の爲	機械の爲	鑛車の爲	計	不詳並其他	踏落或は轉倒	工の爲	飛落或は轉倒	爆發或は爲石		機破の爲	瓦斯炭塵爆發
一〇、四一三	一、〇二〇	九、三七五	同	同	不詳	二、三六六	一、三三三	同	同	同	不詳	一、二〇〇	六、六二五	一、九二六	五、七二五
一三、〇三三	二、二九六	七、九七三	同	同	不詳	三、〇七二	一、八九六	同	同	同	不詳	一、二五三	八、二二五	一、七〇九	四、八五六
二八、〇八六	四、七三三	一七、三九二	同	同	不詳	六、〇六八	一、〇七二	同	同	同	不詳	一、二二二	一五、一七三	二、七三四	一〇、九三九
九七、七四四	一〇、七二七	八、一八三	三、六七一	三、〇七三	二、九〇六	二、九三九	六、六二五	一、一九一	二、二七三	三、〇七三	二、〇〇〇	九、八三〇	二二、七三三	三、七四五	三六、〇七七
九八、〇三三	五、八六一	二、三〇三	二、二二二	三、四七七	二、九三九	四、九三三	三、三三三	一、二七三	三、二〇三	三、二〇三	一、〇〇〇	七、八三三	一七、六六六	八、七三三	三六、八三三
八八、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二二二	三、四七七	二、九三九	三、三三三	五、〇〇〇	一、二七三	三、二〇三	三、二〇三	一、〇〇〇	七、八三三	一七、六六六	八、七三三	三六、八三三
八六、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二二二	三、四七七	二、九三九	三、三三三	五、〇〇〇	一、二七三	三、二〇三	三、二〇三	一、〇〇〇	七、八三三	一七、六六六	八、七三三	三六、八三三
八六、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二二二	三、四七七	二、九三九	三、三三三	五、〇〇〇	一、二七三	三、二〇三	三、二〇三	一、〇〇〇	七、八三三	一七、六六六	八、七三三	三六、八三三
八六、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二二二	三、四七七	二、九三九	三、三三三	五、〇〇〇	一、二七三	三、二〇三	三、二〇三	一、〇〇〇	七、八三三	一七、六六六	八、七三三	三六、八三三
八六、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二二二	三、四七七	二、九三九	三、三三三	五、〇〇〇	一、二七三	三、二〇三	三、二〇三	一、〇〇〇	七、八三三	一七、六六六	八、七三三	三六、八三三
八六、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二二二	三、四七七	二、九三九	三、三三三	五、〇〇〇	一、二七三	三、二〇三	三、二〇三	一、〇〇〇	七、八三三	一七、六六六	八、七三三	三六、八三三
八六、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二二二	三、四七七	二、九三九	三、三三三	五、〇〇〇	一、二七三	三、二〇三	三、二〇三	一、〇〇〇	七、八三三	一七、六六六	八、七三三	三六、八三三
八六、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二二二	三、四七七	二、九三九	三、三三三	五、〇〇〇	一、二七三	三、二〇三	三、二〇三	一、〇〇〇	七、八三三	一七、六六六	八、七三三	三六、八三三
八六、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二二二	三、四七七	二、九三九	三、三三三	五、〇〇〇	一、二七三	三、二〇三	三、二〇三	一、〇〇〇	七、八三三	一七、六六六	八、七三三	三六、八三三
八六、三三三	三、三三三	一、二七三	二、二二二	三、四七七	二、九三九	三、三三三	五、〇〇〇	一、二七三	三、二〇三	三、二〇三	一、〇〇〇	七、八三三	一七、六六六	八、七三三	三六、八三三

五十八、最近十年間内地炭礦出炭類別調 (其二)

(單位千吨)

出炭高別	昭和十二年		同十三年		同十四年		同十五年		同十六年	
	炭礦數	出炭高	炭礦數	出炭高	炭礦數	出炭高	炭礦數	出炭高	炭礦數	出炭高
百 萬 吨 以上	四	五、九七七	四	五、九六八	五	七、一六四	四	五、六四八	一	一、八七二
九十萬吨	三	二、七五八	三	二、八〇六	三	二、八〇六	三	二、八〇六	三	二、八〇六
八十萬吨	一	八七七	一	八〇〇	一	八〇〇	一	八〇〇	一	八〇〇
七十萬吨	一	七六六	一	七七七	一	七七七	一	七七七	一	七七七
六十萬吨	一	一、八九九	一	一、八九九	一	一、八九九	一	一、八九九	一	一、八九九
五十萬吨	三	一、八九九	三	一、八九九	三	一、八九九	三	一、八九九	三	一、八九九
四十萬吨	四	二、二二五	四	二、二二八	四	二、二二八	四	二、二二八	四	二、二二八
三十萬吨	九	三、九七九	八	三、五〇八	八	三、五〇八	八	三、五〇八	八	三、五〇八
二十萬吨	一三	四、四三七	一三	三、六七五	一三	三、六七五	一三	三、六七五	一三	三、六七五
十萬吨	二	二、五九三	二	二、八五六	二	二、八五六	二	二、八五六	二	二、八五六
五萬吨	三	四、四四五	三	五、一七三	三	五、一七三	三	五、一七三	三	五、一七三
計	一〇三	三、五五五	一〇三	三、八八九	一〇三	三、一〇五	一〇三	三、一〇五	一〇三	三、一〇五
五萬吨以下	二九八	一、九六八	二九八	一、九七一	二九八	二、一〇三	二九八	二、一〇三	二九八	二、一〇三
合 計	一四〇一	三、五五五	一四〇一	三、八八九	一四〇一	三、一〇五	一四〇一	三、一〇五	一四〇一	三、一〇五

五十八、最近十年間内地炭礦出炭類別調 (其一)

出炭高別	同七年		同八年		同九年		同十年		同十一年	
	炭礦數	出炭高	炭礦數	出炭高	炭礦數	出炭高	炭礦數	出炭高	炭礦數	出炭高
百 萬 吨 以上	二	二、九三二	二	五、五二一	二	七、七二七	二	八、五〇一	二	二、二六四
九十萬吨	一	—	一	三、三二二	一	一、八九九	一	一、九一一	一	—
八十萬吨	三	二、六三三	三	一、七三四	三	二、五三三	三	一、八〇〇	三	二、五三三
七十萬吨	二	一、五〇五	二	二、二五七	二	一、七三三	二	一、五〇〇	二	二、九四四
六十萬吨	二	一、六四五	二	二、六八〇	二	二、五六六	二	二、五六六	二	—
五十萬吨	二	一、二七二	二	二、六八〇	二	二、五六六	二	二、五六六	二	—
四十萬吨	七	三、〇七四	七	一、八五六	七	三、九三三	七	一、五五五	七	三、二八〇
三十萬吨	六	二、一〇二	六	一、八五六	六	三、九三三	六	一、五五五	六	三、二八〇
二十萬吨	二七	四、二六四	二七	四、八六八	二七	四、一〇〇	二七	四、一〇〇	二七	四、一〇〇
十萬吨	三六	五、四九四	三六	四、九六三	三六	四、四八八	三六	四、四八八	三六	四、四八八
五萬吨	二八	一、九六三	二八	一、七四七	二八	二、一〇三	二八	一、八四三	二八	一、六三四
計	一〇九	二、六三九	一〇九	三、〇九〇	一〇九	三、一〇五	一〇九	三、一〇五	一〇九	三、一〇五
五萬吨以下	二五四	一、六九四	二五四	一、〇〇四	二五四	二、三五六	二五四	二、三五六	二五四	二、三五六
合 計	二〇三	三、三三三	二〇三	四、〇九四	二〇三	五、四六一	二〇三	五、四六一	二〇三	五、四六一

五十九、最近十年間に於ける石炭山鑛夫數、出炭高並直接生産費一覽 (本邦鑛業の趨勢に據る)

出炭高	鑛夫數 (六月末現在)	鑛夫數 坑内夫 坑外夫 計	鑛働延工數			當稼働一高工			直接生産費					
			探炭夫	坑内夫	全鑛夫	探炭夫	坑内夫	全鑛夫	燃料動力 計	主要材料 計	鑛夫賃金 計	合計		
												金額	應當	
昭和十二年	三三,三〇〇	男 三五,三五五 女 四,一七三 計 五九,七二八	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇
昭和十一年	三〇,七二七	男 三二,八〇〇 女 三,九二七 計 四九,七二七	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇

出炭高	鑛夫數 (六月末現在)	鑛夫數 坑内夫 坑外夫 計	鑛働延工數			當稼働一高工			直接生産費					
			探炭夫	坑内夫	全鑛夫	探炭夫	坑内夫	全鑛夫	燃料動力 計	主要材料 計	鑛夫賃金 計	合計		
												金額	應當	
昭和十二年	三三,三〇〇	男 三五,三五五 女 四,一七三 計 五九,七二八	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇
昭和十一年	三〇,七二七	男 三二,八〇〇 女 三,九二七 計 四九,七二七	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇	探炭夫 一,七〇〇 坑内夫 一,七〇〇 全鑛夫 三,四〇〇

六十、最近十年間各年末に於ける石炭試掘並採掘鑛區數及面積調

(本邦鑛業の趨勢)に據る)

採掘鑛區中(面積數)	昭和十二年									
	昭和二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年
札幌監督局管内	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六
仙臺監督局管内	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六
東京監督局管内	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六
大阪監督局管内	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六
福岡監督局管内	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六
合 計	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六
同面積合計	四、三〇〇、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇
探掘鑛區(面積數)	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九

(備考) 昭和十年の數字は概數なり。

六十一、最近十年間石炭試掘並採掘出願件數調

(本邦鑛業の趨勢)に據る)

採掘鑛區中(面積數)	昭和十二年									
	昭和二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年
札幌監督局管内	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四
仙臺監督局管内	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四
東京監督局管内	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四
大阪監督局管内	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四
福岡監督局管内	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四
合 計	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四
探掘鑛區(面積數)	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九	一、三、五、九、九

六十二、最近十年間主要航路に於ける石炭噸當平均船積運賃調

(海運報、其他に據る)

船 帆	船					汽	昭和二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年
	阪大←松若	濱京←連大	港香←松若	海上←松若	濱京←蘭室											
十九六三一 二月月月月	十九六三一 二月月月月	十九六三一 二月月月月	十九六三一 二月月月月	十九六三一 二月月月月	十九六三一 二月月月月	八、七、七、〇、〇	八、七、七、〇、〇	八、七、七、〇、〇	八、七、七、〇、〇	八、七、七、〇、〇	八、七、七、〇、〇	八、七、七、〇、〇	八、七、七、〇、〇	八、七、七、〇、〇	八、七、七、〇、〇	八、七、七、〇、〇
二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇
二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇
二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇
二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇	二、八、五、〇、〇

(備考) 大連京濱間運賃中昭和四年迄は大連阪神間運賃なり。

六十三、最近十年間内地石炭鑛業株式會社營業成績調

(石炭聯合會調査)

期 半 下	期 半 上			
	調査會社數	拂込資本金	株主資本金	純利益
昭和二年	14,926,100	14,236,335	12,125,645	0.1310
同三年	14,236,335	14,236,335	12,125,645	0.1310
同四年	14,236,335	14,236,335	12,125,645	0.1310
同五年	14,236,335	14,236,335	12,125,645	0.1310
同六年	14,236,335	14,236,335	12,125,645	0.1310
同七年	14,236,335	14,236,335	12,125,645	0.1310
同八年	14,236,335	14,236,335	12,125,645	0.1310
同九年	14,236,335	14,236,335	12,125,645	0.1310
同十年	14,236,335	14,236,335	12,125,645	0.1310
同十一年	14,236,335	14,236,335	12,125,645	0.1310

〔備考〕一、本表會社中には石炭鑛業と共に鐵道業或は船舶業兼營のもの數社を含むも金屬鑛業兼營會社は之れを除外せり。
 一、一年を以て決算する會社にありては便宜上損益金を上下二期に等分せり。
 一、株主資本金とは期末拂込資本金に諸積立金並に各種基金、前期繰越損益金を加減したる額を示す。
 一、年利益率とは株主資本金に對する純利益の一年當り割合。

昭和十二年十二月十五日印刷
 昭和十二年十二月二十日發行
 東京市神田區東區六丁目七五
 編者 廣中 孝三
 印刷者 島 運太郎
 東京市神田區東區生代町二六
 印刷所 三 秀 會
 東京市神田區東區内
 日本工業供給所
 發行所 石炭鑛業聯合會
 東京市東區二九七五番
 電話九ノ内 一八二九番
 電話九ノ内 五三九〇番

昭和十二年取石炭統計

六十三 最近十年間内地石炭鑛業株式会社營業成績調

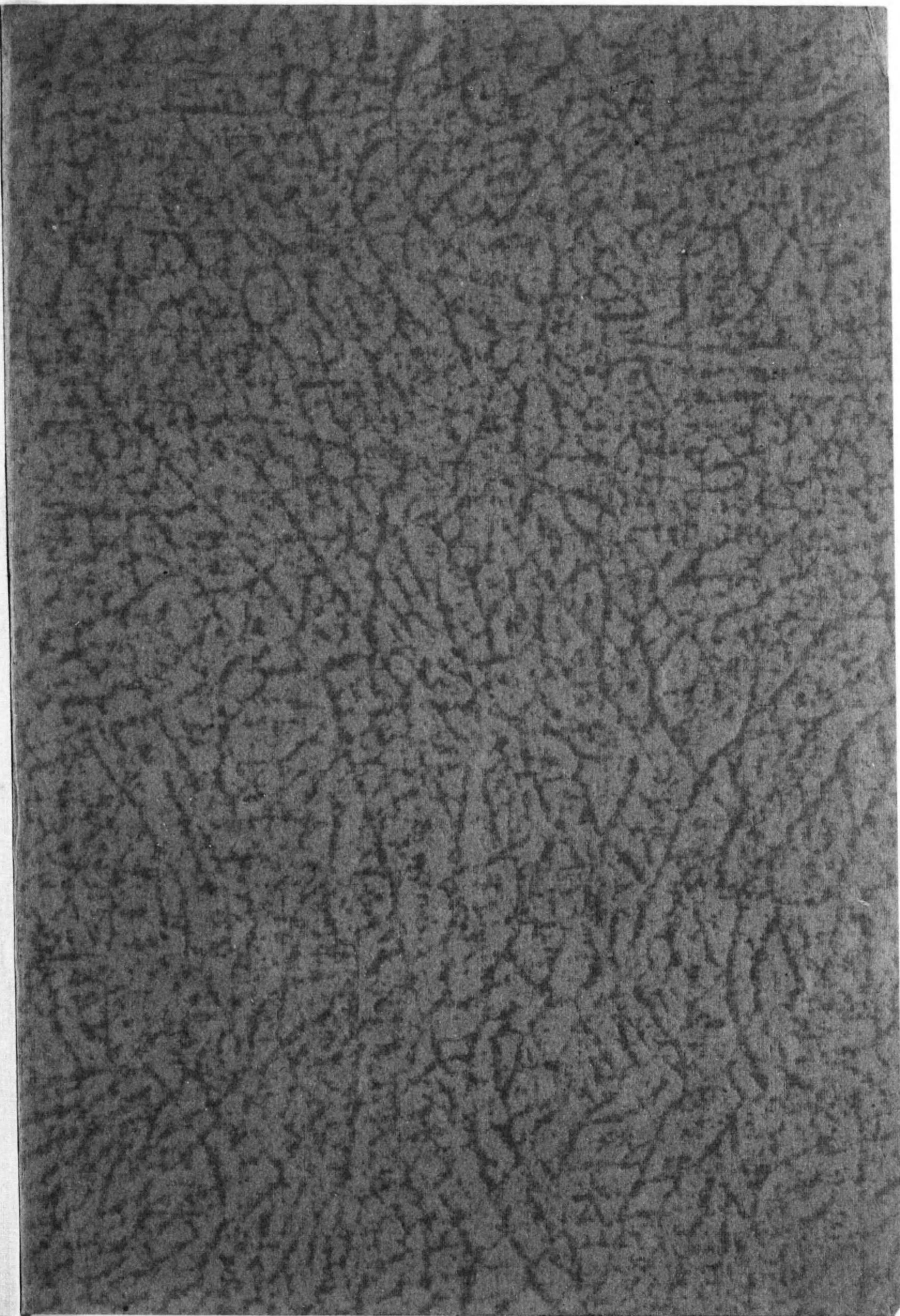
石炭鑛業聯合會

期	下			上		
	年	純	株	年	純	株
利益	益	本	本	利益	益	本
率	全	全	全	率	全	全
昭和十一年	1,481,000	1,481,000	1,481,000	1,481,000	1,481,000	1,481,000
昭和十二年	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
昭和十三年	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000
昭和十四年	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
昭和十五年	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000
昭和十六年	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
昭和十七年	4,500,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000
昭和十八年	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
昭和十九年	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000
昭和二十年	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000

(備考) 一、本表會社中には石炭鑛業と共に鐵道業及び船舶業を含むもの數社を含むもの全業鑛業並營業株式之ものを除外せり。
 二、一年を以て決算する會社によりては便宜上損益全を上下二期に分せり。
 三、株主資本とは期末拂込資本を指し諸積立金及び各種基金、前期繰越損益等を加算したる額を指す。
 四、年利益率とは株主資本を以て算する純益全の一割當り割合。

昭和十二年十二月二十五日印刷
 昭和十三年十二月二十日發行
 (非賣品)
 埼玉縣浦和市岸町六丁目七五
 編輯者 奥中孝三
 東京市神田區美土代町一六
 印刷者 島連太郎
 東京市神田區美土代町一六
 印刷所 三秀舎
 東京市麴町區丸の内一ノ二
 日本工業俱樂部内
 發行所 石炭鑛業聯合會
 振替東京二九七五一番
 電話九ノ内 一八二九番
 五三九〇番

14.4
1079



終